

第171号 令和6年(2024年)10月25日発行



公益社団法人
日本学生陸上競技連合

会報

向上と進展



令和6年度上半期の事業を終えて

会長 松本 正之

日頃は、日本学生陸上競技連合の運営に対して格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。この上半期は、2024日本学生陸上競技個人選手権大会、秩父宮賜杯第64回実業団・学生対抗陸上競技大会、天皇賜盃第93回日本学生陸上競技対校選手権大会という3つの主催競技会を開催いたしました。その間多くの関係各位のお力添えに改めて感謝申し上げます。

日本学連の組織運営の要となります会議の開催につきましては、5月の第64回理事会、役員改選に関わる6月の第16回定時社員総会、第65回理事会および臨時理事会となった7月の第66回理事会、8月の第67回理事会、定時理事会として日本インカレ初日に開催する第68回理事会、また各理事会開催のための企画委員会や各専門委員会の開催など、本連合の運営に関する協議や諸報告など、必要な議題を検討し、進めてまいりました。

日本学生個人選手権は、女子100mでU20日本記録、男子100mでは追い風参考ながらも9秒台がマークされるなど、非常に話題を呼んだ大会となりました。

実業団・学生対抗は、パリ五輪を控えた代表選手たちも多数出場し、学生代表として出場した学生競技者にとっても学ぶことの多い大変有意義なものとなりました。今後も実業団と共に、この競技会を通じてより多くの方に陸上競技に対する興味・関心を持っていただけるより良い大会にして参りたいと考えて

おります。

今年度の日本インカレはUvanceとどろきスタジアム by Fujitsuにて開催いたしました。初日は雷雨で競技が中断するアクシデントもありましたが、日本学生記録やU20日本記録が立て続けに樹立されるなど、数々の新記録が誕生する大会となりました。昨年から復活した各大学の集団応援も今年はさらに活気あるものとなり、白熱した戦いをより盛り上げる大きな力となっているように感じました。

これも今大会から特別協賛として参加いただいた三井住友フィナンシャルグループをはじめとする協賛各社、一般財団法人神奈川陸上競技協会、一般社団法人関東学生陸上競技連盟など関係する皆様のご支援、ご協力の賜物であり、あらためて感謝申し上げます。

10月からはいよいよ下半期に入り、本連合は各種駅伝大会、ロード競技の開催を予定しております。特に2月の日本学生ハーフマラソンは、今年度から丸亀市に舞台を移しての開催となります。開催に向けてファンや地元関係者の方々のご協力を得ながら、万全を期して参ります。

学生競技者諸君の一層の競技力の向上を期待すると共に、関係各位のより一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念し、ご挨拶いたします。

あいさつ 1

公益社団法人 日本学生陸上競技連合

会報 第171号 (令和6年10月25日発行)

向上と進展

目次

会長あいさつ 松本正之	1
-------------------	---

【大会報告】

2024オールスターナイト陸上	3
天皇賜盃第93回日本学生陸上競技対校選手権大会	5

【会議等報告】

第64回理事会	10
第15回定時社員総会	13
第65回理事会	21
第66回理事会	22
第67回理事会	25
第28回理事会	26

【その他】

競技委員会／総務委員会より	37
令和6年度会員について	38
賛助会員・募集／編集後記	39

【大会報告】

2024オールスターナイト陸上 (秩父宮賜杯第64回実業団・学生対抗陸上競技大会)

副幹事長 横川 侑香

1. 大会名：2024オールスターナイト陸上
(秩父宮賜杯第64回実業団・学生対抗陸上競技大会)
2. 大会期日：2024年7月20日(土)
3. 場 所：神奈川県 レモンガススタジアム平塚
4. エントリー数
学生：64名
(男子27名G P参加4名、女子27名G P参加6名)
実業団：72名
(男子27名G P参加9名、女子27名G P参加9名)

5. 選手団役員

監 督	山下 誠
男子コーチ	黒須 雅弘
女子コーチ	小倉 幸雄
男子主将	藤原 寛人
女子主将	木村 美海
マネージャー	横川 侑香

6. 大会総括

令和6年7月20日(土)、レモンガススタジアム平塚にて、2024オールスターナイト陸上(秩父宮賜杯第64回実業団・学生対抗陸上競技大会)が開催されました。

前回大会より日本グランプリシリーズに参画しており、昨年開催されたFISUワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)やブダペスト世界選手権、また本大会後に開催されたパリ五輪で日の丸を背負った選手が多数エントリーし、女子100mハードル日本記録保持者の福部真子選手(日本建設工業)、女子走幅跳日本記録保持者の秦澄美鈴選手(住友電工)、女子棒高跳日本記録保持者の諸田実咲選手(アットホーム)、女子円盤投日本記録保持者の郡菜々佳選手(サトウ食品新潟アルビレックスランニングクラブ)が出場するなど、非常に華やかな大会となりました。

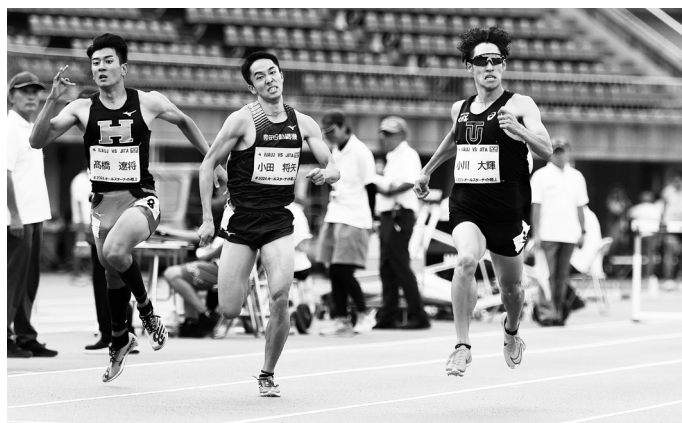
男子400mハードルでは、パリ五輪代表の小川大輝選手(東洋大)が圧巻の走りで大会記録を更新して優勝を飾りました。男子三段跳では今年度の日本選手権で初優勝を成し遂げた安立雄斗選手(福岡大)が

安定した跳躍で優勝を果たしました。

女子800mでは、土岐優花選手(順天堂大)、大野結以選手(筑波大)、渡部鈴夏選手(鹿屋体育大)の学生3人が表彰台を独占しました。リレー種目では本年度も男女混合4×400mリレーを実施し、学生選手団からは白畑健太郎選手(東洋大)、安達茉鈴選手(園田学園女子大)、中尾柚希選手(園田学園女子大)、田邊奨選手(中央大)が出走しました。フィニッシュの直前まで勝負の行方がわからない白熱したレース展開を見せましたが、惜しくも実業団にかないませんでした。

総合結果では実業団が213.5点、学生が167.5点で11年ぶりの優勝とはならず、改めて実業団の強さを痛感させられる結果となりました。個人結果では、学生選手団からMIP賞に男子400mハードルで大会新記録を樹立した小川選手、敢闘賞に男子三段跳で活躍を見せた安立選手が選出されました。最優秀選手賞は女子100mハードルにて自身の持つ日本記録を更新した福部選手となりました。

今年度も大会を無事に終了することができましたのは、神奈川県陸上競技協会ならびに平塚市の皆様のご尽力と関係各位のご支援、ご協力があったことと深く感謝いたします。来年以降もより良い大会を創っていくべく精進いたしますので、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



男子400mHはパリ五輪代表の小川大輝(東洋大、右)が大会新の49秒09でV。2位・小田将矢(豊田自動織機、中央)と3位・高橋遼将(法政大、左)はともに49秒32の同タイム(着差あり)。高橋は自己新だった



女子100mHで日本初となる12秒7を切る12秒69(+1.2)をマークした福部真子(日本建設工業)



男子三段跳は日本選手権覇者の安立雄斗(福岡大院)が16m30(-1.0)で貫禄勝ち



2分07秒02の自己新で女子800mに優勝した土岐優花(順天堂大、左)



男子110mHで日本歴代7位の13秒32(+0.1)をマークした阿部竜希(順天堂大)

第64回実業団・学生対抗成績

7月20日(土) 神奈川・レモンガスタジアム平塚 *対抗選手

男 子		●走高跳		●走り幅跳		●円盤投		●やり投	
●100m(±0)		①衛藤 昂 (神戸デジタル・ラボ) * 2.21		①秦澄美鈴 (住友電工) * 6.61(+0.8)		①郡菜々佳 (サウザン・アスレティクス) * 57.55		①斉藤真理菜 (スズキ) * 58.45	
②関口裕太 (早稲田大) *		②堀井遥樹 (ダイシンプラント) 2.21		②竹内真弥 (ミスノ) * 6.26(+1.1)		②川口紅音 (ウィザース) * 51.77		②上田百寧 (ゼンリン) * 57.93	
③林 拓優 (HDY ONE) *		③長谷川直人 (サウザン・アスレティクス) * 2.18		③木村美海 (四国大) * 6.21(+1.0)		③辻川美乃利 (内田洋行) * 49.94		③山元祐季 (九州共立大) * 57.89	
④和田 遼 (ミキハウス) *		④原口颯太 (順天堂大) * 2.15		④高良彩花 (J.A.L) * 6.13(±0)		④藤森夏美 (STAC) * 47.77		④篠田佳奈 (京都大) * 53.83	
⑤藤原寛人 (中央大) *		⑤宮田 風 (日本大) * 2.15		⑤近藤いおん (池田・アスレティクス) 5.96(+1.3)		⑤友利晃司 (九州共立大) * 47.14		⑤倉田紗優加 (慶應義塾大) * 52.70	
⑥松浦大雅 (岡山商科大) *		⑥渋谷 蒼 (Team猿魂) 2.15		⑥釣本陽香 (横浜国立大) * 5.94(+1.5)		⑥山本実果 (コンドーテック) * 45.17		⑦平松泰穂里 (鹿屋体育大) * 52.19	
●400m		⑦真野友博 (九電工) * 2.15		⑦白土莉紅 (日本大) * 5.89(+2.0)		⑧影山 悠 (順天堂大) * 44.03		●女子総合	
①吉津拓歩 (ジューライン) * 45.89		⑧富田博史 (びわこ成蹊スポーツ大) * 2.10		⑧中尾優花 (福岡大) * 5.70(+0.8)		①実業団:105.5点②学生:83.5点		●男女混合	
②伊東利来也 (住友電工) *		●三段跳		●円盤投		●4×400mR		①実業団* 3.21.22	
③眞々田光大 (早稲田大) *		①安立雄斗 (福岡大) * 16.30(-1.0)		①郡菜々佳 (サウザン・アスレティクス) * 57.55		①実業団* 3.21.22		②今泉 井戸 松屋 吉津	
④今泉堅貴 (Team SSP) *		②宮尾真仁 (東洋大) * 15.99(-0.8)		②川口紅音 (ウィザース) * 51.77		②学生* 3.21.91		③白畑 安達 中尾 田邊	
⑤田邊 奨 (中央大) *		③小田大雅 (XSPG SEAGULLS) 15.61(-1.3)		③辻川美乃利 (内田洋行) * 49.94		●男子総合		①実業団:213.5点②学生:167.5点	
⑥白畑健太郎 (東洋大) *		④山本凌雅 (J.A.L) * 15.61(±0)		④藤森夏美 (STAC) * 47.77		①諸田美咲 (アットホーム) * 4.20			
⑦檀上亜里 (立命館大) *		⑤水野野太 (DOME CLUB) * 15.58(-1.5)		⑤友利晃司 (九州共立大) * 47.14		②大坂谷明里 (園学園女子大) * 4.00			
⑧小淵瑞樹 (登利平) *		⑥城崎滉青 (東洋大) * 15.52(-1.2)		⑥山本実果 (コンドーテック) * 45.17					
●800m		⑦山下祐樹 (富士防) * 15.47(-0.7)		⑦平松泰穂里 (鹿屋体育大) * 52.19					
①木佐亮太 (筑波大) *		●砲丸投		⑧石代織江 (アースコンヤス) * 46.93					
②高梨有仁 (関西大) *		①奥村仁志 (センコー) * 18.11							
③山崎優希 (KAGOTANI) *		②アツオビン・ジェイソン (福岡大) * 17.96							
④田母神一喜 (III FC) *		③幸長慎一 (四国大職) * 17.30							
⑤橋本真由 (近畿大) *		④村上 輝 (日本体育施設) * 16.97							
●110mH(+0.1)		⑤渡辺豹牙 (新潟医療福祉大) * 16.77							
①阿部竜希 (順天堂大) *		⑥山田唯斗 (法政大) * 16.65							
②横地大雅 (Team SSP) *		⑦羽生田智 (MINT TOKYO AC) 16.57							
③藤井亮汰 (三重県スポ協) *		⑧飛松 功 (福岡陸協) 16.22							
④町 亮汰 (サウザン・アスレティクス) *		●ハンマー投							
⑤西 徹明 (早稲田大) *		①柏村亮太 (ヤマダホールディングス) * 69.82							
⑥岩井章太郎 (慶應義塾大) *		②福田翔太 (住友電工) * 68.83							
⑦小池 綾 (法政大) *		③執行大地 (筑波大) * 68.33							
⑧石田トース東 (勝浦ゴルフ倶楽部) 13.78		④木村友大 (ゼンリン) * 67.93							
●400mH		⑤山川凜心 (中京大) * 63.87							
①小川大輝 (東洋大) *		⑥石坂奨真 (順天堂大) * 63.85							
②小田将矢 (豊田自動織機) *		⑦小田航平 (フクモト工業) 63.26							
③高橋遼将 (法政大) *		●男子総合							
④山本竜大 (SEKI AC) *		①実業団:108点②学生:84点							
⑤出口晴翔 (ゼンリン) *		●女子							
⑥井之上駿太 (法政大) *		●100m(+0.2)							
⑦柳田聖人 (東洋大) *		①鶴田玲美 (南九州ファミリーマート) * 11.51							
		②御家瀬緑 (住友電工) * 11.53							
		③青野朱李 (NDソフト) * 11.62							

【大会報告】

天皇賜盃第93回日本学生陸上競技対校選手権大会

幹事長 三浦 拓也

1. 大会名：天皇賜盃第93回日本学生陸上競技対校選手権大会
2. 大会期日：2024年9月19日（木）～22日（日）
3. 場所：神奈川県・Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu
4. エントリー数：
男子127校 1061名
女子108校 873名
5. 主な競技結果（別表参照）
6. 大会総括

神奈川・Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsuにて、天皇賜盃第93回日本学生陸上競技対校選手権大会が開催されました。等々力では2018年以来の開催となりましたが、前回大会とは内部の運用等を大きく変更し、新たな試みが多い大会となりました。各大学、それぞれのカラーが出た集団応援も大きな盛り上がりを見せ、コロナ禍が明けた昨年に増して、多くの観客の皆様にも声を出しての応援をいただき活気に溢れた大会となりました。

大会前、3年連続で気象神社に参拝をしましたが、初日に雷雨による50分間に中断に見舞われてしまい、大会総務である私の普段の行いを悔いる結果となりました。しかし、その後は何とか天気が回復し、比較的好天に恵まれた4日間となりました。ただ、昨年に引き続き、選手、スタッフはもちろん、観客の皆様さんも暑熱対策に追われた大会でもありました。

今夏、フランスにて行われたパリ五輪で日の丸を背負った柳田大輝選手（東洋大）や小川大輝選手（東洋大）、鶴澤飛羽選手（筑波大）などが出場し、圧巻の走りを見せました。特に柳田選手は100mで2連覇を果たし、格の違いを見せつけました。

他にも、船田茜理選手（武庫川女子大）が三段跳で3連覇を果たし、走幅跳との2冠を達成しました。また、男子400mハードルでは、準決勝2組で瀧上翔太選手（早稲田大）がU20日本新記録を樹立すると、続く同3組の下田隼人選手（東洋大）がさらにその記録を更新。加えて3組1着の井之上駿太選手（法政大）が48秒46をマークし、東京世界選手権の参加標準記録（48秒50）を突破するなど、今後の男子400mハードルに期待が膨らむ結果となりました。

男子4×100mリレーでは早稲田大と東洋大が凄まじいデッドヒートを繰り広げ、早稲田大がわずかに先着し、東洋大の2連覇を阻止しました。両校の記録は日本学生新記録であり、レベルの高さを証明しました。女子ハンマー投では村上来花選手（九州共立大大）が他の選手を寄せ付けず、自身の持つ大会記録を更新する圧倒的な投てきで3連覇を成し遂げました。来年度の大会では4連覇に挑みます。

今大会は順天堂大が天皇賜盃を、日本体育大が秩父宮賜杯を獲得し、それぞれ4連覇を成し遂げました。また、昨年を上回る8つの大会新記録と2つの日本学生新記録、U20日本新記録が出るという、今後の日本学生陸上界に大きな期待を持つことができる大会となりました。

こうして無事に本大会を開催することができたのも、関係各位のご支援、ご協力があったことと、深く感謝する次第です。来年は岡山県・シティライトスタジアム（岡山県総合グラウンド陸上競技場）にて第94回大会を開催いたします。今後ともご支援、ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

こうして無事に本大会を開催することができたのも、関係各位のご支援、ご協力があったことと、深く感謝する次第です。来年は岡山県・シティライトスタジアム（岡山県総合グラウンド陸上競技場）にて第94回大会を開催いたします。今後ともご支援、ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

種目	記録	氏名	所属	学年	備考
女子ハンマー投	65m34	村上 来花	九州共立大	3	大会新記録
男子400mH	48.59	下田 隼人	東洋大	1	U20日本新記録
	48.78	瀧上 翔太	早稲田大	1	U20日本新記録
女子円盤投	56m77	齋藤 真希	東海大	M2	大会新記録
男子4×100mR	38.45	大竹 春樹 千田杜真寿 関口 裕太 井上 直紀	早稲田大		大会新記録 日本学生新記録
男子4×100mR	38.47	重谷 大樹 柳田 大輝 成島 陽紀 大石 凌功	東洋大		大会新記録 日本学生新記録
女子5000m	15:35.18	サラ ワンジル	大東文化大	2	大会新記録
女子400mH	56.05(準決勝) 56.35(決勝)	山本 亜美	立命館大	4	大会新記録
男子800m	1:46.83	東 秀太	広島経済大	3	大会新記録



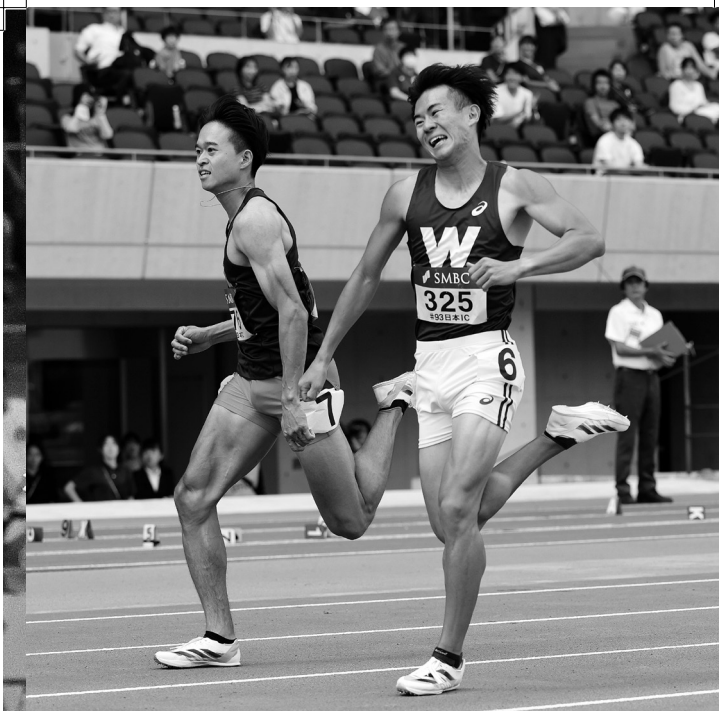
男子4×100m Rは早稲田大が38秒45の日本学生新記録で3年ぶり優勝。4走のエース・井上直紀（右から2人目）が先行する東洋大を逆転する力走を見せた。2位の東洋大も38秒47で中大が2010年に作った学生記録（38秒54）を上回った



男子100mは柳田大輝（東洋大）が連覇を達成。予選、準決勝と走りが噛み合わないまま迎えた決勝で10秒09（-0.4）の好記録をマークし、パリ五輪個人出場を逃すなどシーズン通じてのモヤモヤを払拭した

20秒64（+0.6）で男子200mを2年ぶりに優勝した輪澤飛羽（筑波大、手前）。最後のインカレでパリ五輪代表としての実力を示す





ハイレベルな争いとなった男子400m Hは洧上翔太（早稲田大、右）が48秒96で41年ぶりの1年生優勝を成し遂げた。左は準決勝で日本歴代7位、東京世界選手権参加標準記録（48秒50）を突破する48秒46をマークした井之上駿太（法政大）



男子400m H準決勝2組では洧上が為末大のU20日本記録（49秒09）を28年ぶりに更新する48秒78を叩き出すと、直後の3組を走った下田隼人（東洋大、写真）が48秒59へと塗り替えた



波辺愛（園田学園女子大）が第79回の上田敏斗美（鹿屋体育大）以来の女子800m、1500mの2冠。連覇した800m（写真、左）は学生歴代5位の2分02秒79をマークした。2位の西田有里（立命館大）も2分03秒26（同6位、U20日本歴代5位）と好走



船田茜理（武庫川女子大院）が女子走幅跳（6m20 / -0.2）と三段跳（13m48 / +0.6）を制覇。この種目の2冠は三段跳が初めて行われた第60回の庵真理子（日本女子体育大）以来、33年ぶり史上2人目の快挙だった



女子400m Hは山本亜美（立命館大、右）が2年ぶり2度目のVで最後のインカレを飾った。準決勝で56秒65、決勝は56秒35と大会新を連発。京都橋高の後輩でもある瀧野未来（57秒45）とワン・ツーだった



大会新となる65m34を放った女子ハンマー投3連覇を飾った村上来花（九州共立大）



女子4×100m Rで2連覇を達成した甲南大。青山華依、奥野由萌、藏重みう、岡根和奏とつなぎ、44秒58をマークした（右から走順）



女子円盤投は齋藤真希（東海大院）が自身の大会記録を更新する56m77で4年連続5度目の日本一



学校対抗の男子総合は順天堂大が82点を積み上げてV4を達成。第38回～53回まで16連覇して以来の4連覇だった

85.66点を獲得した日本体育大学が学校対抗の女子総合で4年連続V。同校の4連覇は第39回から7連覇して以来となる



今大会から新設された優勝校の中で最も活躍した選手に贈られる「SMBC賞」は、男子が110mハードルに向かい風2.1mを突いて13秒40で快勝した阿部竜希（左）、女子は200m23秒95（+1.2）、400mは学生歴代3位の53秒03で2冠に輝いたフロレス・アリエが受賞した

男子走高跳で学生歴代8位タイの2m27に成功して優勝した原口颯太（順天堂大）



第93回日本インカレ成績

9月19日（木）～22日（日） 神奈川・Uvanceとどろきスタジアム

男 子					
●100m(-0.4)・20日		②新垣颯斗（東洋大4）	46.41	⑤中川拓海（順天堂大2）	3.45.64
①柳田大輝（東洋大3）	10.09	③眞々田光大（早稲田大4）	46.65	⑥北村魁士（山梨学院大3）	3.45.73
②井上直紀（早稲田大3）	10.13	④森田陽樹（早稲田大2）	46.81	⑦森玉鳳雅（関西大2）	3.46.56
③山本匠真（広島大4）	10.19	⑤野々山開（三重大M2）	47.06	⑧大野聖登（順天堂大2）	3.46.66
④神戸毅裕（明治大2）	10.26	⑥友田真隆（東京理科大4）	47.20	●5000m・21日	
⑤鶴澤飛羽（筑波大4）	10.28	⑦佐竹結月（日本大3）	47.39	①スティーブン・ムチーニ（創価大2）	13.52.25
⑥三輪颯太（慶應義塾大4）	10.36	⑧原田真聡（明治大2）	47.82	②伊藤大志（早稲田大4）	14.05.82
⑦愛宕 頼（東海大3）	10.38	●800m・22日		③草刈恭司（東海大3）	14.07.36
⑧大石凌功（東洋大2）	10.42	①東 秀太（広島経済大3）	1.46.83	④谷村恒晟（関西大3）	14.08.41
●200m(+0.6)・22日		＝大会新		⑤秋吉拓真（東京大3）	14.12.25
①鶴澤飛羽（筑波大4）	20.64	②寺西満輝（山梨学院大3）	1.47.81	⑥中村光稀（京都産業大4）	14.14.76
②重谷大樹（東洋大4）	20.71	③萬野七樹（関西大1）	1.47.93	⑦新本 駿（山梨学院大4）	14.21.87
③鈴木大河（日本大4）	20.81	④北村魁士（山梨学院大3）	1.47.96	⑧テレン・バリス・ヤガット（東工大2）	14.23.46
④エケ・ジュニア・アギン（中央大2）	20.91	⑤高村比呂飛（日本体育大4）	1.48.29	●10000m・19日	
⑤松井健斗（関西大4）	20.98	⑥佐藤主理（鹿屋体育大4）	1.48.56	①シャドック・キップケイ（日本大2）	28.41.26
⑥小池真生（順天堂大2）	21.03	⑦杉本 仁（環太平洋大2）	1.48.72	②スティーブン・レマイヤン（駿河台大2）	28.43.82
⑦海老澤蓮（順天堂大4）	21.15	⑧石元潤樹（日本大3）	1.48.88	③ラファエル・ロンギサ（拓殖大2）	28.48.03
⑧井澤 真（筑波大4）	21.36	●1500m・20日		④ソロモン・ムトゥク（創価大1）	29.13.25
●400m・20日		①高村比呂飛（日本体育大4）	3.44.11	⑤ビーム・ステファニー・ゼンギン（山梨学院大2）	29.23.93
①田邊 奨（中央大1）	46.32	②青木龍翔（立教大2）	3.44.99	⑥ネリソン・マンダ・ンビティ（淑徳大3）	29.40.72
		③東 秀太（広島経済大3）	3.45.02	⑦小嶋都依斗（京都産業大4）	29.47.19
		④塩原 匠（順天堂大3）	3.45.04	⑧網本佳悟（東洋大3）	29.50.57
				●110mH(-2.1)・21日	
				①阿部竜希（順天堂大3）	13.40
				②似内陸斗（岩手大3）	13.53
				③西 徹朗（早稲田大3）	13.57
				④可児将大（日本大M2）	13.73
				⑤樋口隼人（筑波大3）	13.74
				⑥廣富葵士（国際武道大2）	13.86
				⑦近藤翠月（東海大4）	13.92
				⑧岩井章太郎（慶應義塾大4）	13.96
				●400mH・22日	
				①洲上翔太（早稲田大1）	48.96
				②井之上駿太（法政大4）	49.08
				③高橋遼将（法政大3）	49.23
				④森高颯治朗（近畿大4）	49.49
				⑤渡邊 脩（日本体育大3）	49.80
				⑥柳田聖人（東洋大2）	49.99
				⑦下田隼人（東洋大1）	50.08
				⑧深町飛太（順天堂大M1）	50.39
				●3000mSC・22日	
				①村尾雄己（順天堂大3）	8.34.83
				②浦田優斗（中央大4）	8.35.09
				③山崎 颯（順天堂大3）	8.50.42

④大園倫太郎 (鹿屋体育大)	8.50.47
⑤尾島 樹 (上武大)	8.55.01
⑥中林 俊 (群馬大)	8.55.25
⑦小野真忠 (東海大)	8.56.81
⑧緒方 快 (関東学院大)	8.56.83
●10000mW・21日	
①土屋温希 (立命館大)	40.48.42
②原 圭佑 (京都大)	40.50.37
③前川悠雅 (東海大)	40.53.07
④高橋優喜 (早稲田大)	40.55.96
⑤長谷川智里 (東京学芸大)	40.59.99
⑥谷垣大翔 (中京大)	41.29.61
⑦下池将多郎 (順天堂大)	41.25.90
⑧赤澤晃成 (山梨学院大)	41.31.09
●4×100mR・21日	
①早稲田大	38.45
(大竹、千田、関口、井上)	
②東洋大	38.47
(重谷、柳田、成島、大石)	
以上日本学生新、大会新	
③日本大	39.98
(川上、清水、鈴木、渡辺)	
④大東文化大	39.00
(松本、酒井、橋本、北原)	
⑤順天堂大	39.07
(高橋、小池、海老澤、阿部)	
⑥慶應義塾大	39.12
(大島、三輪、篠宮、林)	
⑦筑波大	39.58
(星、瀧澤、井澤、木梨)	
(藤、中央、失格)	
(藤、中央、植松、エケ)	
●4×400mR・22日	
①東洋大	3.05.71
(小川、平川、白畑、新垣)	
②早稲田大	3.06.16
(眞々田、森田、湖上、権田)	
③日本大	3.06.87
(矢ヶ部、佐竹、岡村、菊田)	
④順天堂大	3.07.03
(池田、小池、大村、小幡)	
⑤大東文化大	3.07.06
(角、清水、佐々木、渡邊)	
⑥近畿大	3.07.16
(佐々木、長藤、瀬古、森高)	
⑦東海大	3.08.03
(中道、倉岡、望月、森安)	
⑧立命館大	3.09.50
(三永、増田、福字、村田)	
●走高跳・22日	
①原口颯太 (順天堂大)	2.27
②山中 駿 (京都市大)	2.24
③本田基偉 (岐阜大)	2.15
④マコネル・ジョエル (筑波大)	2.15
⑤岸川晃希 (鹿屋体育大)	2.10
〃元平優仁 (新潟医療福祉大)	2.10
⑥宮田 風 (日本大)	2.10
⑦周世原春哉 (関西福祉大)	2.10
〃須崎遥也 (慶應義塾大)	2.10
●棒高跳・20日	
①柄澤智哉 (日本体育大)	5.50
②原口篤志 (東大阪大)	5.40
③古澤 生 (筑波大)	5.30
〃野呂仁人 (関西学院大)	5.30
④村社亮太 (日本大)	5.20
〃松井楓雅 (日本体育大)	5.20
⑦吉田陸哉 (関西大)	5.20
⑧中島央人 (大阪教育大)	5.20
●走幅跳・20日	
①田中隆太郎 (順天堂大)	7.77(+0.2)
②新留 陸 (国際武道大)	7.73(+0.3)
③大久保直樹 (山梨学院大)	7.64(+1.3)
④松下凌成 (岐阜協立大)	7.60(-0.1)
⑤三輪哉太 (環太平洋大)	7.49(-0.3)
⑥山下 然 (中央大)	7.48(+1.6)
⑦高橋朝陽 (東海大)	7.45(+0.1)
⑧北川 凱 (東海大)	7.45(+0.1)
●三段跳・21日	
①安立雄太 (福岡大)	16.08(+3.0)
②宮尾真仁 (東洋大)	15.97(+1.9)
③城崎晃青 (東洋大)	15.91(+0.9)
④荒木 基 (順天堂大)	15.73(-0.6)
⑤町田裕輝 (中京大)	15.71(-1.1)
⑥深井敦史 (九州共立大)	15.65(+0.1)
⑦安藤寛峻 (神戸大)	15.53(+0.8)
⑧磯井亮輔 (筑波大)	15.42(+1.2)
●砲丸投・22日	
①渡辺羽芽 (新潟医療福祉大)	17.68
②アツオビ・ジェイソン (福岡大)	17.41
③山田暉斗 (法政大)	17.03
④上内達司 (筑波大)	16.31
⑤仁子晃希 (国士館大)	16.19
⑥井上 翼 (東海大)	16.07
⑦木幡駿平 (東海大)	15.98

●5000m・21日	
①サラ・ワンジル (大東文化大)	15.35.18
=大会新	
②山崎りさ (日本体育大)	15.38.89
③永長里緒 (大阪学院大)	15.50.49
④小川陽香 (立教大)	15.50.85
⑤小暮真緒 (順天堂大)	15.59.13
⑥日影柚月 (金沢学院大)	16.14.29
⑦尾方唯莉 (日本体育大)	16.14.91
⑧長島奈南 (城西国際大)	16.16.49
●10000m・19日	
①本田 怜 (立教大)	33.04.54
②野田真理耶 (大東文化大)	33.05.34
③永長里緒 (大阪学院大)	33.06.32
④前田彩花 (関西大)	33.10.38
⑤柳井栞子 (日本体育大)	33.10.91
⑥白川朝陽 (筑波大)	33.12.57
⑦不破聖衣来 (拓殖大)	33.12.79
⑧原田紗希 (名城大)	33.13.35
●100mH(-1.3)・21日	
①本田 怜 (順天堂大)	13.28
②伊藤彩香 (福岡大)	13.34
③島野真生 (日本女子体育大)	13.47
④高橋亜珠 (筑波大)	13.48
⑤安井麻里花 (青山学院大)	13.56
⑥林 美希 (早稲田大)	13.59
⑦中山璃子 (環太平洋大)	13.65
⑧小寺彩貴 (順天堂大)	13.83
●400mH・22日	
①山本亜美 (立命館大)	56.35
=大会新	
②瀧野未来 (立命館大)	57.45
③大野瑞奈 (山梨学院大)	57.61
④松岡萌絵 (中央大)	58.10
⑤タネル舞瑠乃 (東京学芸大)	58.95
⑥大川寿美香 (早稲田大)	59.12
⑦益子芽里 (中央大)	59.34
⑧辻井美穂 (大阪教育大)	60.41
●3000mSC・22日	
①齋藤みう (日本体育大)	9.57.12
②山下彩葉 (大阪学院大)	10.08.84
③本庄悠紀奈 (筑波大)	10.09.78
④川瀬真由 (大東文化大)	10.17.86
⑤小松夕夏 (筑波大)	10.20.56
⑥小川舞香 (環太平洋大)	10.23.42
⑦白井かずみ (兵庫大)	10.30.26
⑧近江香穂 (環太平洋大)	10.31.22
●10000mW・20日	
①梅野倅子 (順天堂大)	46.37.36
②石田さつき (武蔵女子大)	47.05.05
③谷 純花 (金沢学院大)	47.41.30
④中島結子 (早稲田大)	47.47.70
⑤庄子理菜 (中京大)	47.52.72
⑥杉林 歩 (大阪大)	48.10.02
⑦山岸芽生 (中京大)	48.37.72
⑧廣瀬夏希 (早稲田大)	48.46.88
●4×100mR・21日	
①甲南大	44.58
(青山、奥野、蔵重、岡根)	
②青山学院大	44.66
(倉橋、佐藤、井上、石川)	
③福岡大	45.02
(伊藤、前田、酒井、柴藤)	
④日本女子体育大	45.03
(伊藤、山崎、倉地、板里)	
⑤日本体育大	45.06
(瀧野、西村、工藤、フロレス)	
⑥早稲田大	45.13
(鷲、山越、上島、中村)	
⑦園田学園女子大	45.26
(森本、安達、浅田、村田)	
⑧立命館大	45.73
(角、永石、瀧野、福井)	
●4×400mR・22日	
①立命館大	3.36.82
(児島、工藤、山本、瀧野)	
②中央大	3.38.01
(吉永、松岡、益子、飯田)	
③早稲田大	3.38.53
(山越、清水、山本、上島)	
④福岡大	3.42.15
(村岡、江原、飛鷹、田島)	
⑤青山学院大	3.42.33
(川窪、篠原、谷口、瀬田)	
⑥日本体育大	3.42.47
(中村、フロレス、塚本、鈴木)	
⑦筑波大	3.43.71
(森、赤坂、勝、原田)	
⑧九州共立大	3.45.63
(森、前山、樫山、渡辺)	
●走高跳・20日	
①矢野夏希 (早稲田大)	1.76
②森崎優希 (日本女子体育大)	1.76
〃齋藤みゆに (中京大)	1.76

④前西咲良 (筑波大)	1.73
〃川邊美奈 (順天堂大)	1.73
⑥安西彩乃 (日本女子体育大)	1.73
⑦宗澤ティファニー (筑波大)	1.73
⑧細田弥々 (日本体育大)	1.70
〃伊藤 楓 (日本体育大)	1.70
〃八重樫澄佳 (筑波大)	1.70
●棒高跳・22日	
①小林美月 (日本体育大)	4.10
②村田蒼空 (筑波大)	4.00
③大坂谷明里 (園田学園女子大)	4.00
④佐々木琳音 (日本体育大)	3.90
⑤杉本 彩 (常葉大)	3.80
⑥岡田莉歩 (日本体育大)	3.80
⑦若林人生 (福岡大)	3.80
⑧高橋侑莉愛 (順天堂大)	3.80
〃相原ほのか (筑波大)	3.80
●走幅跳・21日	
①船田茜理 (武蔵女子大)	6.20(-0.2)
②宮本乃亜 (日本体育大)	6.08(-0.1)
③松永理沙(ニア) (順天堂大)	6.00(+1.4)
④釣本陽香 (横浜国立大)	5.99(-1.6)
⑤松村琴都 (筑波大)	5.97(+0.8)
⑥泰くるみ (筑波大)	5.86(-1.1)
⑦前西咲良 (筑波大)	5.81(-0.8)
⑧藤原 倫 (九州情報大)	5.80(+1.4)
●三段跳・21日	
①船田茜理 (武蔵女子大)	13.48(+0.6)
②廣瀬桃奈 (園田学園女子大)	12.83(+0.9)
③鹿野日陽南 (関西福祉大)	12.49(+0.6)
④岸野美雨 (四国大)	12.48(-1.3)
⑤大塚芽衣 (青山学院大)	12.44(+1.8)
⑥田口陽菜 (駿河台大)	12.41(+0.9)
⑦谷本沙柚佳 (金沢大)	12.30(+0.7)
⑧矢野田澤央 (日本体育大)	12.26(-0.5)
●砲丸投・20日	
①大野史佳 (筑波大)	15.60
②奥山琴未 (岡山商科大)	15.50
③村瀬こ (九州共立大)	14.92
④谷口梨壺 (日本体育大)	14.79
⑤田中杏美 (九州共立大)	14.60
⑥山田彩夏 (順天堂大)	14.30
⑦日夏涼香 (福岡大)	14.24
⑧吉成美羽 (東京女子体育大)	14.23
●円盤投・21日	
①齋藤真希 (東海大)	56.77
=大会新	
②西山藍那 (筑波大)	46.16
③友利晟司 (九州共立大)	45.62
④城間歩和 (九州共立大)	45.55
⑤藤田はつき (徳島大)	45.43
⑥西込珠輝来 (京都産業大)	45.06
⑦阪本海月華 (日本体育大)	43.99
⑧廣井 楓 (鹿屋体育大)	43.81
●ハンマー投・20日	
①村上来花 (九州共立大)	65.34
=大会新	
②コンボン・ミガモン (流通経済大)	62.84
③嶋本美海 (九州共立大)	59.65
④大沢柚月 (流通経済大)	58.04
⑤松尾菜央 (新潟医療福祉大)	56.54
⑥川島 空 (大阪体育大)	56.20
⑦三村啓恵 (立命館大)	55.58
⑧中嶋日向子 (中京大)	55.57
●やり投・22日	
①山元祐季 (九州共立大)	57.35
②倉田紗優加 (慶應義塾大)	57.23
③篠田佳奈 (京都大)	56.35
④村上碧海 (日本体育大)	55.31
⑤平松委穂里 (鹿屋体育大)	53.87
⑥中村 怜 (東大阪大)	50.84
⑦曾野 雅 (国士館大)	50.37
⑧寺田奈津美 (九州共立大)	50.33
●七種競技・21～22日	
①松下美咲 (中央大)	5318
②水谷佳歩 (中京大)	5306
③大菅紗矢香 (中京大)	5233
④下元香濃 (東京学芸大)	5031
⑤土屋美夏フラガ (日本体育大)	4971
⑥中尾日香 (筑波大)	4951
⑦上野山真白 (九州共立大)	4941
⑧貴家ありさ (日本体育大)	4876
◆女子総合	
①日本体育大	: 85.66点
②筑波大	: 73.33点
③園田学園女子大	: 48点
④九州共立大	: 47点
⑤順天堂大	: 40点
⑥立命館大	: 39点
⑦青山学院大	: 36点
⑧早稲田大	: 34点

【会議報告】

第64回理事会要旨

1. 開催された日時

令和6年5月18日(土) 14時00分から15時49分

2. 開催された場所

T K P 新宿カンファレンスセンター 6 E

3. 理事総数及び定足数

現在数22名、定足数12名

4. 出席理事数 20名

(出席) 有吉 正博、植田 恭史、岡崎 朋美、
小倉 幸雄、片平 誠人、蒲原 一之、
北井 敏雄、木下 澄雄、工藤 洋治、
黒須 雅弘、障子 恵、杉山 喜一、
鶴崎 健一、永井 純、長澤 光雄、
日隈 広至、福島 洋樹、松本 正之、
安井 年文、山下 誠、
(出席監事) 細萱 智大、山本 俊樹
(欠席理事) 小林 聖子、関根 春幸

5. 議題

【協議事項】

- 第1号議案：令和5年度事業報告及び決算(案)について
第2号議案：令和6年度・7年度次期理事、監事候補者について(追認分)
第3号議案：令和6年度会員入会の承認(正会員/名誉会員/参与)について
第4号議案：令和6年度会員入会の承認(普通会員)について
第5号議案：令和6年度競技会要項(案)承認の件
第6号議案：その他

【報告事項】

- ①前回理事会以降の会務の報告
②令和7年(2025年)主催競技会スケジュールについて
③その他

6. 議事の経過及びその結果

- (1) 定足数の確認
(2) 議長及び議事録署名人の選出
(3) 議事の審議状況及び議決結果等

【協議事項】

- 第1号議案：令和5年度事業報告及び決算(案)について
永井純専務理事、大西清司事務局長及び細萱智大監事より資料に基づき令和5年度事業報告及び決算の承認について提案があった。

【事業報告】

永井純専務理事より令和5年度の本連合の事業を公益目的事業1～3、法人管理部門、普通会員の登録

数の順に説明した。

総括として、WUG(ワールドユニバーシティゲームズ)がようやく開催され、個人選手権で選手41名選考。第92回日本インカレに関しては、当初日産スタジアムでの開催を模索していた。Jリーグとの調整はうまくいったが、最終的に日本陸連主催の小学生陸上が8月から9月に移動したためバッチングしてしまい、熊谷での開催となった。

【公1】

- ・実学対抗陸上はEグレードとなり、世界を目指す選手たちにとってはポイントを獲得する上でより良い大会となった。
- ・出雲駅伝では4年ぶりの参加となったアイビーリーグ招聘について今後については要協議。熱中症も1区で出てしまった。
- ・全日本大学女子駅伝では走行に支障をきたした選手が2名出てしまった。対応を巡って大きな反響となったことからその対策に注力した。
- ・全日本大学駅伝では5名の熱中症が出てしまった。
- ・日本学生ハーフは来年度より丸亀市での開催になる。

【公2】

世界大学クロスカントリーやWUGの派遣について資料に基づき説明があった。

【公3】

陸上競技研究は予定通り年3回の発行。

【法人管理部門】

幹部役員研修会では全国で活動している学生幹事を集め、宿泊研修の実施を行っている。

【決算について】

大西清司事務局長が資料に基づき説明を行った。令和5年度収支決算書(対前年度)、貸借対照表については資料の通り。

正味財産増減計算書に関して、受取会費の内、普通会員は前年比541名増。賛助会員はマット様から100万円をいただき大幅増。旅費交通費は世界大会が多くあったことで増となっている。賃借料大幅減の理由は熊谷競技場の賃借料が非常に安価で押さえることができたため。委託費は派遣社員の雇用、陸上競技研究発行、競技会時のNISHI等のレンタル費用。経常費用は対前年比で合計1,900万円ばかりの増。これは主にWUGと世界大学クロスカントリー、IVYリーグ招聘による経費などが増の要因。

正味財産増減計算書内訳表は公1、公2、公3それぞれの収支について記載したもの。公益目的事業の収支は基本的に赤字でなければならないとされており、日本学連はそれに則した運営となった。

【監査報告】

続いて、細萱智大監事より5月13日に日本学連事務局において監査を実施した結果、計算書類及び付属明細書並びに財産目録については正しく記載され

ており、法令・定款に違反する事項は存在しなかった旨の報告があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第2号議案：令和6年度・7年度次期理事、監事候補者について（追認分）

永井純専務理事より前回の理事会で承認することができなかった関東学連推薦理事の提案がり、審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第3号議案：令和6年度会員入会の承認（正会員／名誉会員／参与）について

永井純専務理事より資料2に基づき提案があった。関東学連から23名が正会員として推薦、強化委員会から4名が追加で推薦された。名誉会員に関しては1名社員総会に推薦すること、参与として6月8日付で3名の退任理事が推薦され、審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第4号議案：令和6年度会員入会の承認（普通会員）について

永井純専務理事より資料に基づき提案があった。前年度は最終的に19,497名、今年度は現在17,779名で2,500名上乗せすれば20,000名に届く。今後の伸びに期待したい。

第5号議案：令和6年度競技会要項（案）承認の件

【日本インカレについて】

山下誠常務理事・強化委員長より資料に基づき提案があった。審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

【全日本大学駅伝】

永井純専務理事より資料に基づき提案があった。

細かな変更では給水のポイントが変わったくらいだが、その他として今大会で上位に入った大学が25年3月開催予定の「大阪・関西万博開催記念EXPO EKIDEN2025」に招待される。吹田の前回の万博会場から今回の万博会場までの55km。実業団と学生が10チームずつくらい出場して競わせたいとのこと。そこで、この文言を主催するテレビ局から要項に追加してほしいと要望があったため、記載を承認してもらいたい。

【日本学生ハーフマラソン】

山下誠常務理事・強化委員長より資料に基づき提案があった。

今回より丸亀開催となり、従来より1ヵ月早いタイミングとなる。エントリーがあったものの中から記録上位者順に上限を設けて出場を認める。ただし、上限を超えても併催の香川丸亀国際ハーフマラソンに、一般ランナーの資格ではあるが出場できる。この大会からWUGの選手を選考する。

第6号議案：その他

オランダ・ナイメーヘンでのロードレースの代表

選手選考について山下誠常務理事・強化委員長より資料に基づき提案があった。

学連の海外ロードレース派遣事業の選考案である。入賞が見込まれること、WUGの活躍、今後の日本長距離界を担うことが期待される競技者で編成する。

続いて、永井純専務理事よりランニング学会から大学女子長距離選手を対象とした心身のコンディショニングに対するアンケート調査依頼があり、その承認について提案があった。

安井年文理事／調査研究委員長より簡単に返事ができないので中身の精査が必要。女性特有の問題などはナイーブな部分なので、慎重に取り扱わないと後々問題が出る。

【報告事項】

①前回理事会以降の会務の報告

・永井純専務理事より資料に基づき職務執行について報告があった。

前年度事業のまとめ、決算についての職務を行ってきた。倫理委員会をより機能させるため、処分規定の準備を工藤洋治常務理事中心に進めている。（欠席の関根春幸常務理事・競技委員長に代わり）競技委員会は日本学生個人選手権の準備を進めている。

・障子恵理事・総務委員長より総務委員会も個人選手権の準備を進めている。

・山下誠常務理事・強化委員長より駅伝関係、先に審議した学生ハーフマラソンの要項など大後委員を中心にとりまとめ作業を進めていること、来年のWUG選考要項も早急に整理しなければならない旨発言があった。

②令和7年（2025年）主催競技会スケジュールについて

永井純専務理事より資料に基づき報告があった。2025年の日本インカレをどこで開催するか検討中。

岡山も有力候補であるが、高体連の大会や競技場利用においてはJリーグとの絡みがある。補助員は環太平洋大学もありなんとかなる。駅から歩いて15分くらいで使いやすい、競技場のクオリティ、補助グラウンドもしっかりしている。岡山、金沢の選択の中で今後検討したい。

今後しかるべきメンバーを集めて検討会議を実施、メンバーは理事、強化委員会、競技委員会、総務委員会など早急に人選する。

③その他

・永井純専務理事より日本陸連の秩父宮章に九州学連会長の片峯隆さんが決定したとの報告があった。

・石川県知事、北信越学連会長、県の担当者から2026年3月に200kmを2日に分けて能登半島復興駅伝（仮称）を開催したいとの要請があった。

・大西清司事務局長より日本学連のシンボルマークについて商標登録が完了した旨の報告があった。

執行役員による職務執行の状況報告 (2024/3/2 以降)

2024年5月18日 第64回理事会

月 日	行 事 (報告内容)
3月2日 (土)	第63回理事会 於：TKP 新宿カンファレンスセンター
3月4日 (月)	倫理委員会 ※オンライン会議にて
3月5日 (火)	富士山女子駅伝・事務局会議 ※富士市
3月7日 (木)	第93回日本IC/ マーケティングに関するオンライン会議 ※オンライン会議にて
3月8日 (金)	読売テレビ 令和6年度競技会ライブ配信関連ミーティング ※オンライン会議にて
3月10日 (日)	第27回日本学生ハーフマラソン選手権大会 ※立川市
3月11日 (月)	三井住友ファイナンシャルグループ・ご挨拶 於：三井住友銀行本店
3月16日 (土) ～ 17日 (日)	第27回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会 ※松江市
3月16日 (土) ～ 17日 (日)	第18回日本学生20 km競歩選手権大会 於：能美市
3月18日 (月)	日本陸連/ 全国強化責任者会議 ※オンライン会議にて
3月18日 (月)	全日本大学駅伝/ 朝日新聞社ミーティング 於：JR 東海
3月21日 (木)	立川ハーフマラソン・実行委員会 於：泉体育館 (立川市)
3月25日 (月)	三井住友ファイナンシャルグループ・担当者ミーティング 於：三井住友銀行本店
3月26日 (火)	第28回日本学生ハーフマラソン (2025/2月開催) 丸亀国際ハーフ事務局打合せ 於：日本学連事務局
3月26日 (火)	2023 富士山女子駅伝会計監査 於：日本学連事務局
3月27日 (水)	第93回日本IC- 等々力競技場下見 於：川崎市
4月3日 (水)	強化委員会 ※オンライン会議にて
4月4日 (木)	出雲駅伝/ アンケートに関するミーティング ※オンライン会議にて
4月4日 (木)	倫理委員会 ※オンライン会議にて
4月5日 (金)	第28回日本学生ハーフマラソン/ 丸亀国際ハーフ事務局打合せ ※オンライン会議にて
4月10日 (水)	医事委員会/ アンチドーピングに関するミーティング ※オンライン会議にて
4月11日 (木)	第93回日本IC- 等々力競技場下見 於：川崎市
4月12日 (金)	2024 日本学生陸上競技個人選手権/ 神奈川陸上競技協会ミーティング 於：神奈川陸協事務局
4月12日 (金)	医事委員会/ アンチドーピングに関するミーティング ※オンライン会議にて
4月17日 (水)	EXPO 駅伝/ 朝日放送 ミーティング ※オンライン会議にて
4月18日 (木)	第6回富士山女子駅伝実行委員会 於：富士市教育会館及びオンライン会議
4月18日 (木)	総務委員会 ※日本学連事務局及びオンライン会議にて
4月23日 (火)	三井住友ファイナンシャルグループ・担当者ミーティング 於：三井住友銀行本店
4月23日 (火)	全日本大学駅伝- ポスター会議 ※オンライン会議にて
4月26日 (金)	総務委員会 ※日本学連事務局およびオンライン会議にて
4月30日 (火)	報道部会ミーティング ※日本学連事務局およびオンライン会議にて
5月8日 (水)	全日本大学駅伝- 代表者会議事前ミーティング ※オンライン会議にて
5月10日 (金)	全日本大学駅伝- 小委員会・代表者会議 ※オンライン会議にて
5月10日 (金)	財務委員会 ※日本学連事務局およびオンライン会議にて
5月13日 (月)	令和5年度会計監査 於：日本学連事務局
5月14日 (火)	全日本大学女子駅伝- 実行委員会 於：仙台市及びオンライン会議
5月15日 (水)	企画委員会 ※オンライン会議にて
5月16日 (木)	出雲駅伝実行委員会・事前打ち合わせ 於：日本学連事務局
5月18日 (土)	第64回理事会 於：TKP 新宿カンファレンスセンター

【会議報告】

第16回社員総会

1. 開催された日時

令和6年6月8日(土) 14時00分から15時22分まで

2. 開催された場所

TKP新宿カンファレンスセンター5C

3. 正会員総数及び定数

現在数135名、定足数68名

4. 出席正会員数：115名

(本人出席) 51名 (委任出席) 64名 (欠席) 20名

5. 議題

【決議事項】

第1号議案：令和5年度(第12期)決算承認の件

第2号議案：理事の任期満了に伴う改選に関する件

第3号議案：監事の任期満了に伴う改選に関する件

第4号議案：名誉会員の推薦について

【報告事項】

①令和5年度事業報告

②令和6年度日本学生陸上競技連合の会務について

③その他

6. 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認

(2) 議長及び議事録署名人の選出

(3) 議案の審議状況及び議決結果等

【報告事項】

①令和5年度事業報告について

永井純専務理事より資料に基づき令和5年度事業報告について説明があった。

(公1：競技会について) 日本学生学生個人選手権に関する報告およびWUGの選考会議に関する報告があった。実業団対学生は日本グランプリシリーズに参入し、ポイントランキング制度において競技会グレードがアップした旨説明があった。日本インカレは熊谷市で開催。暑熱対策を重視し、競技運営面の努力により熱中症は最小限にとどめることができたと評価。各駅伝はレース中の熱中症など急病対策に取り組んだこと、レース中、異常が出れば審判員は躊躇せず競技を止める、止めたことによる諸問題が起きた場合は日本学連が責任を持って対処することとした。

(公2：育成について) 海外派遣は、コロナの影響を

受けて延期となっていたWUG、世界大学クロスカントリーに派遣した。

WUGはチームリーダーに山下誠強化委員長、監督に安井年文強化委員長補佐が担った。中国渡航は、コロナの影響がまだまだ残り、ビザ取得など渡航手続きに多くの手間と労力、経費を要した。大会の環境面では、競技場および滞在施設は良かったが、宿舎と競技場間の移動がバスで片道1時間かかるなど大変であった。食事面は良かったとのこと。

世界大学クロスカントリーは中東オマーンのマスクットで開催。10kmの団体において、男子総合1位、女子3位となった。メダル数では女子の1個のみであった。強化委員の大後栄治氏、米田勝朗氏が帯同。

ドーピングコントロールに関する事業について、日本インカレにおいて留学生に陽性反応。このJADAによる検査結果が出たのが出雲駅伝終了後となってしまったことにより、駅伝の成績の扱いについてはJADAと陸連と学連で協議することになった。結果的にインカレの個人記録および駅伝におけるチームの成績は自動的に失格、駅伝の他区間の個人の成績も学連内で検討した結果、成績取り消しとなった。

指導者会議については、テーマなどを慎重に検討し、3月に開催。学生審判員の育成については各地区学連において資格取得等順調にすすめることができた。

調査研究委員会に関しては、陸上競技研究誌の発行を年3回順調に発行した。134号を数え、研究誌としてはギネスものの発刊状況となっている。日本陸上競技学会の共催も本連合の公益事業とした。法人管理の面では理事会を年に6回開催。大会準備のための諸々の会議はオンライン会議が増え、効率性の向上や経費の節約になった。

普通会员の登録について、コロナ前は20,000人を超えていたが、コロナになって19,000人を割り込む状況となっていた。徐々に回復し、20,000人も見えてきた。

【決議事項】

第1号議案：令和5年度(第12期)決算承認の件

大西清司事務局長より資料に基づき令和5年度収

支決算について説明があった。

収支決算書は令和5年度の収支概要を示したものである。事業活動収入は120,658,753円で事業活動支出が123,663,045円。令和5年度は収支差額が3,004,292円の赤字となった。

計算書類の説明：貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表

監査報告：細萱智大監事より5月13日に日本学連事務局において監査を実施した結果、計算書類及び付属明細書並びに財産目録については正しく記載されており、法令・定款に違反する事項は存在しなかった旨、また、事業報告において法令・定款に違反する事項並びに不当な事実は存在しなかった旨の報告があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席正会員全員一致で可決した。

第2号議案：理事の任期満了に伴う改選に関する件

第3号議案：監事の任期満了に伴う改選に関する件

永井純専務理事より資料に基づき令和6年度、7年度の理事・監事の改選に関して説明及び提案があった。理事は学識経験者推薦11名、地区学連推薦11名を選任することとしている。学識経験者は本連合の運営を鑑みて理事候補者を選出、地区学連においてはその地区からしかるべき会議によって推薦してもらい、役員候補選出会議（代表理事2名、理事2名、正会員2名、事務局長で構成）を開催し、審査、候補者名簿を作成した。5月の理事会答申を経て、この社員総会では、これらの候補者について個々に審査、賛否問う形とした。

その結果、有吉正博、岡崎朋美、蒲原一之、工藤洋治、障子恵、関根春幸、大後栄治、永井純、松本正之、安井年文、山下誠、広川龍太郎、長澤光雄、秋元恵美、苅部俊二、日隈広至、福島洋樹、黒須雅弘、小倉幸雄、北井敏雄、鶴崎健一、片平誠人が出席正会員全員一致で承認された。

同様に監査候補として細萱智大、山本俊樹も出席正会員全員一致で承認された。

第4号議案：名誉会員の推薦について

永井純専務理事より資料に基づき説明と提案があった。会員に関する規定に基づき前関西学連会長の津野洋氏が推薦され、承認された。

【報告事項】

②令和6年度日本学生陸上競技連合の会務について

永井純専務理事より資料に基づき報告があった。

項目が多いため、競技会開催計画に絞って説明があった。

- ・個人選手権は6月14日～16日に平塚で開催
- ・実業団対学生は7月20日にナイターで平塚開催
- ・日本インカレは9月19日～22日、3.5日開催とした理由は短距離から要望があったのと長距離のスタートを夕方にしたという要望から。
- ・出雲駅伝においては取り決め通りスポーツの日に開催
- ・全日本大学女子駅伝は10月最終週に仙台で開催
- ・全日本大学駅伝は11月の最初の日曜日
- ・全日本大学女子選抜駅伝は毎年12月30日
- ・日本学生ハーフマラソンはWUGの選考会で上位3名は内定を出したい。これまで立川市において開催していたが、現場からの要望もあり、よりレベルの高い丸亀国際ハーフとの併催となる。
- ・20km競歩も男子の方はWUGメダル有力候補なので上位3名を内定する予定。
- ・女子のハーフマラソンもWUGの選考会。3名まで内定を出したい
- ・2025年3月は、女子ハーフマラソンと同日にEXPO駅伝が開催される。この駅伝について、日本学連は協力という立場なので直接開催とは関係はない。大阪の朝日放送の企画で万博公園をスタート、大阪の中心街を走り、夢洲まで、学生10チーム、実業団10チームの総距離55kmで開催案がとどいている。賞金・賞品も考えているとのこと。学生側は全日本大学駅伝から希望する上位8チームに関西学連、全日本の選抜を予定。

③その他

大西清司事務局長より事務局員の増員について報告があり、総務委員会の副委員長で、北海道学連の幹事長経験者の河野匠氏の8月1日からの採用が伝えられた。

以上をもって議案の審議等を終了したので、15時22分、議長は閉会を宣し、解散した。

公益社団法人日本学生陸上競技連合 2023年度(令和5年度)事業報告

【概要】

令和5年度は新型コロナウイルス感染症による制限が法律により緩和され、競技会運営や派遣事業など、コロナ禍以前にほぼ戻った環境での実施となった。各事業については、年度当初に立てた事業計画に沿って遂行し、昨年に引き続き、4月に日本学生陸上競技個人選手権大会を開催、ワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)(以下WUG)の日本代表選手選考競技会として実施した。懸案だったWUG参加は2回の延期を経てようやく派遣が実現した。

天皇賜盃第92回日本学生陸上競技対校選手権大会(以下日本インカレ)は、昨年の京都開催から首都圏での開催を検討した。選手、運営スタッフはもちろん観客に対して、交通の便や宿泊環境など、より良いロケーションを実現するべく努力したが、結果は他の競技団体との調整が難しく、熊谷スポーツ文化公園陸上競技場にて開催となった。暑熱対策において、特に配慮すべき点としたこともあり、大事に至ることもなく、好記録が続出する中、無事終了することができた。

駅伝シーズンに入り、昨今の気温上昇傾向の環境において、選手の安全管理が特に心配されるようになった。各駅伝大会においては、緊急事態(走行困難な選手)への対応方針を明確にし、審判への周知やチーム責任者との連携など、今まで以上に対策を入念に行った年度でもあった。

また、長らく派遣を中止していた世界大学クロスカントリー大会も2018年のスイス開催以来6年ぶりの派遣(2月マスカット/オマーン)を実施した。

【公1-競技会】

2021年から延期となっていたWUGの日本代表選手選考のため、通常6月に開催する日本学生陸上競技個人選手権大会を昨年と同様4月へ移動し、男子24名、女子17名を選出した。また、台湾の学生選抜チームを4年ぶりに受け入れた。実業団・学生対抗陸上競技大会は、今大会から日本グランプリシリーズ(グレード2)に参入し、ワールドランキングポイント(Eランク)の獲得に向けてより優位な位置づけの大会として実施した。

日本インカレは、90回大会に続き熊谷市にて開催した。昨年の京都に続き、有料観戦として開催したが、京都開催の販売額には届かなかった。総合優勝は男子、順天堂大学、女子は日本体育大学が獲得。日本タイ記録1、日本学生新記録1大会新記録4、と盛会のうちに無事終了した。

10月に入り、駅伝大会の幕開けとなる第35回出雲駅伝は、ほぼコロナ前に戻した運営で開催。IVYリーグ選抜チームも2019年以来4年ぶりの参加となった。恒例となっていた歓迎レセプション、さよならパーティーなども実施され、コロナ禍前の賑わいを取り戻し、大変盛り上がった大会となった。

10月29日開催の第41回全日本大学女子駅伝対校選手権大会は、警察の指導等によりコース変更を行って開催した。弘進ゴムアスリートパーク仙台(仙台市陸上競技場)発着となった。概要でも述べたが、選手走行において、安全を脅かすことが2度発生

し、競技継続の判断など、安全管理上の問題が起きた大会でもあった。今後、温暖化の影響がますます懸念される中、駅伝の安全対策を発信することができた。

11月5日開催の第55回全日本大学駅伝対校選手権大会、12月30日開催の2023全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山女子駅伝)は、コロナ禍前に戻った運営で実施し、地元の理解や多くの関係者の努力によって盛況のうち無事終了することができた。尚、富士山女子駅伝については、実行委員会形式を取っているが、次回大会に向けては、インボイス制度の関係で財務関係の見直し、すなわち運営コスト等の削減を必要とする課題が残った。

2024年に入り、3月10日開催、第27回日本学生ハーフマラソン選手権大会(男子)は、例年通り立川シティーハーフマラソン大会との併催で実施した。次回大会より香川丸亀国際ハーフマラソンと併催になることから、最後の立川開催となった。

続く3月17日、松江レディースハーフマラソンとの併催にて第27回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会を開催、また、同日に開催した全日本能美競歩と併催の第18回日本学生20km競歩選手権大会は、能登半島地震の影響が懸念されたが、予定通り開催し、無事終了した。

【公2-育成】

WUG(2021/成都)への派遣は2回の延期を経てようやく派遣が実現した。日本選手団は41名の選手(男子24名、女子17名)にスタッフ15名の総勢56名を派遣した。前回、前々回と同様、国別メダル獲得数において最上位を目標とし競技に臨んだが、結果は金メダル2、銀メダル4、銅メダル5、入賞23という成績であった。ポイントランキング制度の導入により、大会のレベルが上がったと分析、今大会の入賞者は出場選手41名中36名(約88%)であった。選考基準の精度が上がってきたことも評価された。他方で中国への渡航手続きに関して、以前の渡航とは違いコロナ禍の影響もあり、詳細な個人情報が必要とする査証の申請、取得など、選手・スタッフはもちろん事務局等の関係者にも大きな負担となった。

海外派遣事業の再開として、2024年2月、世界大学クロスカントリー大会(マスカット/オマーン)へ6年ぶりに選手8名スタッフ3名を派遣した。結果は、国際標準の10kmにおいて女子の銅メダル1個にとどまった。国別団体戦については、男子10kmは1位、女子は10km3位であったものの、今大会においては2kmの部のエントリーも団体戦の必須としたため、表彰台に上がることはできなかった。この件は、組織委員会におけるレギュレーションが曖昧であった(後日FISUで問題に)ことから残念な結果となった。

ドーピングコントロールに関する事業については、主催の4大会において実施された。残念なことに日本インカレにおいて、留学生がドーピング違反となり失格。この選手は出雲駅伝に出場したため、チームも失格となった。他の選手の区間成績の扱いについて日本学連関係者間で議論されたが結果は個人成績も認めないこととした。

審判員育成については、B級審判の養成、資格取得については各地区学連の対応において実施した。

指導者会議については、本年度69回を数え、対面とオンラインを併用して実施した。テーマは、①FISUワールドユニバーシティゲームズ（2021成都）の報告、②ワールドランキングコンペティションへの申請上の留意点、であった。

他の育成事業として、栄章贈与式（新記録章）、クロカン日本選手権（共催/福岡）、東京マラソンへの学生エリート、準エリート選手推薦を予定通り実施した。

【公3-調査研究】

調査研究事業においては、本年もtoto助成金を受領し、年3回の陸上競技研究（132～134号）を発行した。
共催事業の第22回日本陸上競技学会については、中京大学キャンパスにおいて2月22日、23日の両日に開催された。

【法人管理部門】

令和5年度はWUGの選考のため、4月24日にオンラインで理

事を開催。5月20日開催の第59回理事会（主に事業報告）はZOOMによるWeb会議とした。6月開催の定時社員総会および60回理事会については、新型コロナウイルス感染症による制限も緩和されたことから対面による実施とした。日本インカレ前に開催する理事会（61回）は熊谷市で開催。12月の第62回理事会は日本学生新記録章の表彰式も兼ね、新宿の会議室にて開催した。本年度最終の第63回理事会（主に来年度事業計画）も同様に新宿の会議室にて開催した。

日本学連の活動において重要な立場にある学生役員のための第49回幹部役員研修会は、1泊2日の日程で実施した。

【普通会员の登録数】

令和5年度、普通会员登録者数は19,500名となった。令和4年度は18,959名であったことから、541名の増員となった。令和2年度の対前年2000名を超える大幅な減少から少しずつ回復している状況となっており20,000名の回復まであと一歩となっている。

(1) 公1<競技会>

No.	競技会	期 日	場 所	種目数	参加校・競技者数	備 考
1	2023 日本学生陸上競技個人選手権大会兼ワールドユニバーシティゲームズ(2021/成都)日本代表選考競技会	2023年 4月21日(金) ～23日(日)	レモンガススタジアム平塚 ＊ハンマー投げ/東海大学湘南校舎競技場	男子18 女子18	男:77校/461名 台湾/9名 女:88校/515名 台湾/8名	大会新(12) スポーツ振興基金助成金事業
2	(2023オールスターナイト陸上)秩父宮賜杯 第63回実業団・学生対抗陸上競技大会(日本グランプリシリーズ/G2)	2023年 7月1日(土)	平塚市 レモンガススタジアム平塚	男子9 女子10	54名 60名 (オープン参加は含まず)	実業団211点男子105点女子106点 学生177点 男子88点女子89点総合優勝チーム: 秩父宮賜杯、内閣総理大臣杯 男子優勝チーム:文部科学大臣杯女子優勝チーム: 厚生労働大臣杯
3	天皇賜盃 第92回日本学生陸上競技対校選手権大会	2023年 9月14日(木) ～17日(日)	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場	男子22 女子22	120校…998名 109校…810名	男子優勝校 順天堂大学(95点)女子優勝校 日本体育大学(69点)日本タイ(1)、日本学生新(1)、大会新(6)
4	第35回出雲全日本大学選抜駅伝競走	2023年 10月9日 (月/祝)	出雲市 45.1km 6区間		国内…20チーム 海外…1チーム (IVY)	優勝:駒沢大 2時間07分51秒(大会新) 2位:青山学院大 2時間10分35秒 ※優勝チームには内閣総理大臣杯、文部科学大臣賞を授与
5	第41回 全日本大学女子駅伝対校選手権大会	2023年 10月29日(日)	仙台市 38.0km 6区間		国内・25校+1チーム(東北選抜)	優勝:名城大 2時間04分29秒 (7年連続8回目) 2位 大東大 2時間05分21秒 ※優勝チーム:文部科学大臣杯を授与
6	秩父宮賜杯 第55回全日本大学駅伝対校選手権大会	2023年 11月5日(日)	名古屋市～伊勢市 106.8km 8区間		国内・25校+2チーム(東海選抜/全日本大学選抜)	優勝 駒沢大 5時間09分00秒 (4年連続16回目的優勝) 2位 青学院大 5時間12分34秒 ※優勝チーム:秩父宮賜杯を授与
7	2023全日本大学女子選抜駅伝競走	2023年 12月30日(土)	富士市・富士宮市 43.4km 7区間		国内…22単独チーム +全日本大学選抜+静岡県選抜)計24チーム	優勝 名城大 2時間22分42秒 2位 日本体育大 2時間24分04秒 ※優勝チーム:文部科学大臣杯を授与
8	第27回日本学生ハーフマラソン選手権大会	2024年 3月10日(日)	立川市		エントリー:1385名 完走:847名	優勝:青木瑠都(國學院大)1:02.06 2位:近田陽路(中央学院大)1:02.19 3位:工藤慎作(早稲田大)1:02.29
9	第18回日本学生20km競歩選手権大会	2024年 3月17日(日)	能美市		男/エントリー:57名 女/エントリー:29名	男子優勝 吉川純斗(東京学芸大)1時間19分12秒 女子優勝 下岡仁美(同志社大)1時間33分53秒
10	第27回日本学生女子ハーフマラソン選手権大会	2024年 3月17日(日)	松江市		エントリー:83名 完走:58名	優勝:野田真理耶(大東大)1:12:01 2位:小林舞妃留(大阪学院大)1:12:03 3位:谷本七星(名城大)1:12:05
11	2023年日本学生記録年鑑の発行	2024年 3月29日発行			1000部発行 主催競技会の記録、2023年50傑、歴代10傑他	

(2) 公2<育成>

No.	競技会等	期 日	場 所	備 考
1	FISU ワールドユニバーシティゲームズ (2021 / 成都)	2023 年 8月1日(火)～ 6日(日)	成都 / 中国	選手41名(男子24名、女子17名) スタッフ15名計56名 金メダル2、銀メダル4、銅メダル5、入賞23
2	秩父宮賜杯 第76回西日本学生陸上競技対 校選手権大会	2023 年 6月16日(金)～ 18日(日)	岐阜メモリアルセンター 長良川競技場	日本学連共催。
3	第45回北日本学生陸上競技対 校選手権大会	2023 年 8月10日(木) ～12日(土)	宮城野原総合運動公園陸 上競技場	日本学連共催。
4	日本学連栄章贈与式 / 諸記録 章 (日本学生新記録)	2023 年 12月16日(土)	東京 / 新宿 (TKP)	【日本新記録 / 日本学生新記録章】 ①三浦龍司 (順天堂大) 3000SC 【日本学生新記録章】 (男子) ①横田俊吾 (青学大) マラソン、 ②リチャード / エディリー (東京国際大) 10000 m、5000 m ③村竹ラシッド (順天堂大) 110mH (日本記録タイ) (女子) ①柳井綾音 (立命館大) 10000 mW ②村上来花 (九州共立大) ハンマー投げ
5	2024FISU 世界大学クロスカン トリー選手権大会	2024 年 2月17日 (土) - 18日(日)	マスカット / オマーン	選手8名(男子4名、女子4名) スタッフ3名計11名 種目: 10 km 銅メダル1、
6	第107回日本陸上競技選手権 大会クロスカントリー競走 (日 本学連共催)	2024 年 2月26日(日)	福岡市 / 海の中道海浜公 園男子12km、女子8km	男子最高: 山口智規 (早稲田大) 学生1位 (連合杯獲得) ※ 29分16秒 (日本選手権優勝) 女子最高: 太田 咲雪 (立命館大) 学生1位 (連合杯獲得) ※ 27分21秒 (日本選手権5位)
7	第69回指導者会議	2024 年 3月2日(土)	TKP 新宿 / ZOOM 併催	①FISU ワールドユニバーシティゲームズ (2021 成都) の報告 (山下、安井) ②ワールドランギングコンペティションへの申請上の留意点 (関根)
8	RUN as ONE 東京マラソン 2024 準エリート (学生)	2024 年 3月3日(日)	東京	東京マラソン財団へ推薦、準エリート及びエリート
9	新規B級審判員資格認定		各地	講習会は地区学連が開催
10	ドーピング・コントロール・ テスト	4回	各地	検査実施大会 (日本学生個人、実業団・学生対抗、日本IC、 全日本大学女子駅伝)
11	知っておきたい アンチ・ドーピングの知識 2023 発行	2023 年 1月1日発行	日本学連ホームページに 公開	日本学連医事委員会編集

(3) 公3<調査研究>

No.	事 業	期日・回数	場 所	備 考
1	日本陸上競技学会共催 (第22回)	2024 年 2月22日(木) ～23日(金)	中京大学	日本学連共催 テーマ: 日本陸上競技学会の歩みと発展
2	研究調査『陸上競技研究』の発行	年3回 / 132 ～ 134号		(ISSN 0919-9918) 日本学連調査研究委員会 2023/6/30、10/31 2024/2/29 発行 ※スポーツ振興くじ助成金事業

(4) 法人管理部門<組織力管理>

No.	事 業	期間・回数等	摘 要
1	理事会の開催	6回	第58回(4月24日) 第59回(5月20日) 第60回(6月10日) 第61回(9月14日) 第62回(12月16日) 第63回(3月2日)
2	定時社員総会の開催	1回	第15回定時社員総会(6月10日)、
3	会員の入会受付	2023 年度	正会員 135 名 普通会員(学生) 19,500 名
4	公認競技会開催申請及び記録公認 申請	2023 年度	日本学連傘下の団体の公認競技会開催受付 / 日本陸連申請 日本学連傘下の団体の記録公認受付 / 日本陸連申請
5	会報の刊行	3回	各回 1,000 部(名誉会員、正会員、役員、委員会委員 賛助会員 地区学連加盟校に配布) 5月、10月、1月
6	ホームページの運営・公開	随時	事業計画、事業報告、計算書類等の公開、競技会等に関する情報提供、等
7	2023 学生役員会議	2023 年 12月16日(土)	1回開催(新宿) 参加対象: 各地区学連幹部学生役員
8	第49回学生幹部役員研修会	2024 年 3月1日(金)～ 2日(土)	集合研修(新宿) 参加対象: 令和6年度各地区学連三役
9	学連情報の掲載	毎月	『月刊陸上競技』に掲載(各地区ヘッドコーチ、地区選出理事、専門委員長などが執筆)

貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

公益社団法人 日本学生陸上競技連合

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	81,840,136	60,575,719	21,264,417
未収金	2,915,040	2,335,000	580,040
仮払金	427,207	22,684,291	△ 22,257,084
流動資産合計	85,182,383	85,595,010	△ 412,627
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	25,000,000	25,000,000	0
秩父宮妃記念基金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	35,000,000	35,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	8,000,000	7,400,000	600,000
賞与引当資産	619,000	973,000	△ 354,000
ユニバーシアード派遣事業積立資産	7,000,000	10,000,000	△ 3,000,000
国際交流積立資産	8,000,000	8,000,000	0
競技会事業積立資産	32,000,000	32,000,000	0
世界大学クロスカントリー派遣積立資産	2,000,000	4,000,000	△ 2,000,000
海外ロードレース遠征積立資産	4,000,000	4,000,000	0
創立100周年積立資産	3,500,000	3,000,000	500,000
特定資産合計	65,119,000	69,373,000	△ 4,254,000
(3) その他固定資産			
電話加入権	56,000	56,000	0
その他固定資産合計	56,000	56,000	0
固定資産合計	100,175,000	104,429,000	△ 4,254,000
資産合計	185,357,383	190,024,010	△ 4,666,627
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	962,441	1,374,630	△ 412,189
預り金	4,680,108	6,176,254	△ 1,496,146
賞与引当金	619,000	973,000	△ 354,000
流動負債合計	6,261,549	8,523,884	△ 2,262,335
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,000,000	7,400,000	600,000
固定負債合計	8,000,000	7,400,000	600,000
負債合計	14,261,549	15,923,884	△ 1,662,335
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	10,000,000	10,000,000	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	25,000,000	25,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	57,119,000	61,973,000	△ 4,854,000
正味財産合計	171,095,834	174,100,126	△ 3,004,292
負債及び正味財産合計	185,357,383	190,024,010	△ 4,666,627

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

公益社団法人 日本学生陸上競技連合

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	501	700	△ 199
基本財産受取利息	501	700	△ 199
特定資産運用益	1,970	1,692	278
特定資産受取利息	1,970	1,692	278
受取会費	37,693,000	35,663,200	2,029,800
正会員受取会費	675,000	675,000	0
普通会員受取会費	35,100,000	34,126,200	973,800
賛助会員受取会費	1,240,000	250,000	990,000
陸上研究誌受取会費	678,000	612,000	66,000
事業収益	66,720,558	67,806,896	△ 1,086,338
受取協賛金	24,449,938	22,478,163	1,971,775
受取放映料	17,600,000	17,600,000	0
受取参加料	9,477,000	9,720,300	△ 243,300
受取広告料	3,986,620	3,864,000	122,620
入場料等売上	11,207,000	14,144,433	△ 2,937,433
受取補助金等	5,569,000	6,764,000	△ 1,195,000
受取助成金	5,319,000	6,564,000	△ 1,245,000
受取補助金	250,000	200,000	50,000
受取負担金	10,487,340	4,806,000	5,681,340
受取負担金	10,487,340	4,806,000	5,681,340
雑収益	186,384	351,278	△ 164,894
受取利息	576	738	△ 162
雑収益	185,808	350,540	△ 164,732
経常収益計	120,658,753	115,393,766	5,264,987
(2) 経常費用			
事業費	117,978,141	99,024,665	18,953,476
給料手当	6,136,800	8,475,576	△ 2,338,776
臨時雇賃金	675,600	325,200	350,400
退職給付費用	480,000	480,000	0
賞与引当金繰入額	495,200	778,400	△ 283,200
福利厚生費	1,265,031	1,734,063	△ 469,032
会議費	3,567,626	3,087,432	480,194
旅費交通費	42,665,147	27,343,939	15,321,208
通信運搬費	3,020,776	2,703,841	316,935
消耗品費	3,489,846	2,654,577	835,269
備品費	437,136	9,276	427,860
印刷製本費	8,847,505	8,004,697	842,808
光熱水料費	112,770	90,760	22,010
食糧費	3,477,496	2,894,860	582,636
賃借料	6,828,398	8,795,435	△ 1,967,037
リース料	310,904	299,904	11,000
諸謝金	1,830,050	921,000	909,050
表彰費	1,537,789	1,333,783	204,006
渉外費	65,797	39,141	26,656
委託費	13,471,289	10,811,186	2,660,103
租税公課	2,375,120	1,349,824	1,025,296
支払負担金	16,368,070	16,345,449	22,621
雑費	519,791	546,322	△ 26,531
管理費	5,684,904	5,738,739	△ 53,835
給料手当	1,534,200	2,118,893	△ 584,693
臨時雇賃金	168,900	81,300	87,600
退職給付費用	120,000	120,000	0
賞与引当金繰入額	123,800	194,600	△ 70,800
福利厚生費	316,257	433,515	△ 117,258
会議費	257,104	249,704	7,400
旅費交通費	239,559	234,258	5,301
通信運搬費	517,205	564,180	△ 46,975
消耗品費	6,542	8,706	△ 2,164
備品費	228,129	5,684	222,445
印刷製本費	282,444	264,503	17,941
光熱水料費	112,770	90,760	22,010
賃借料	850,413	802,738	47,675
リース料	77,726	74,976	2,750
渉外費	62,561	35,905	26,656
委託費	151,905	49,755	102,150
租税公課	593,780	337,456	256,324
雑費	41,609	71,806	△ 30,197
経常費用計	123,663,045	104,763,404	18,899,641
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,004,292	10,630,362	△ 13,634,654
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,004,292	10,630,362	△ 13,634,654
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,004,292	10,630,362	△ 13,634,654
一般正味財産期首残高	164,100,126	153,469,764	10,630,362
一般正味財産期末残高	161,095,834	164,100,126	△ 3,004,292
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	171,095,834	174,100,126	△ 3,004,292

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

公益社団法人 日本学生陸上競技連合

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計					法人会計	内部取引等消去	合計
	公 1	公 2	公 3	共通	小計	法人会計		
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	251	251	250		501
基本財産受取利息	0	0	0	251	251	250		501
特定資産運用益	0	0	0	985	985	985		1,970
特定資産受取利息	0	0	0	985	985	985		1,970
受取会費	0	0	678,000	18,507,500	19,185,500	18,507,500		37,693,000
正会員受取会費	0	0	0	337,500	337,500	337,500		675,000
普通会員受取会費	0	0	0	17,550,000	17,550,000	17,550,000		35,100,000
賛助会員受取会費	0	0	0	620,000	620,000	620,000		1,240,000
陸上研究誌受取会費	0	0	678,000	0	678,000	0		678,000
事業収益	61,420,558	5,300,000	0	0	66,720,558	0		66,720,558
受取協賛金	19,149,938	5,300,000	0	0	24,449,938	0		24,449,938
受取放映料	17,600,000	0	0	0	17,600,000	0		17,600,000
受取参加料	9,477,000	0	0	0	9,477,000	0		9,477,000
受取広告料	3,986,620	0	0	0	3,986,620	0		3,986,620
入場料等売上	11,207,000	0	0	0	11,207,000	0		11,207,000
受取補助金等	3,050,000	100,000	2,319,000	100,000	5,569,000	0		5,569,000
受取助成金	3,000,000	0	2,319,000	0	5,319,000	0		5,319,000
受取補助金	50,000	100,000	0	100,000	250,000	0		250,000
受取負担金	10,487,340	0	0	0	10,487,340	0		10,487,340
受取負担金	10,487,340	0	0	0	10,487,340	0		10,487,340
雑収益	132,750	12,200	0	41,434	186,384	0		186,384
受取利息	0	0	0	576	576	0		576
雑収益	132,750	12,200	0	40,858	185,808	0		185,808
経常収益計	75,090,648	5,412,200	2,997,000	18,650,170	102,150,018	18,508,735		120,658,753
(2) 経常費用								
事業費	91,698,971	20,394,109	5,885,061	0	117,978,141	0		117,978,141
給料手当	4,986,150	767,100	383,550	0	6,136,800	0		6,136,800
臨時雇賃金	548,925	84,450	42,225	0	675,600	0		675,600
退職給付費用	390,000	60,000	30,000	0	480,000	0		480,000
賞与引当金繰入額	402,350	61,900	30,950	0	495,200	0		495,200
福利厚生費	1,027,840	158,128	79,063	0	1,265,031	0		1,265,031
会議費	2,149,515	1,315,270	102,841	0	3,567,626	0		3,567,626
旅費交通費	32,786,087	9,839,134	39,926	0	42,665,147	0		42,665,147
通信運搬費	1,446,248	999,605	574,923	0	3,020,776	0		3,020,776
消耗品費	2,562,507	926,031	1,308	0	3,489,846	0		3,489,846
備品費	156,075	281,061	0	0	437,136	0		437,136
印刷製本費	7,250,339	77,030	1,520,136	0	8,847,505	0		8,847,505
光熱水料費	78,939	33,831	0	0	112,770	0		112,770
食糧費	3,477,496	0	0	0	3,477,496	0		3,477,496
賃借料	5,819,278	952,426	56,694	0	6,828,398	0		6,828,398
リース料	62,180	248,724	0	0	310,904	0		310,904
諸謝金	580,000	1,118,050	132,000	0	1,830,050	0		1,830,050
表彰費	1,409,034	128,755	0	0	1,537,789	0		1,537,789
渉外費	40,775	12,511	12,511	0	65,797	0		65,797
委託費	10,600,535	246,573	2,624,181	0	13,471,289	0		13,471,289
租税公課	2,375,120	0	0	0	2,375,120	0		2,375,120
支払負担金	13,168,070	2,950,000	250,000	0	16,368,070	0		16,368,070
雑費	381,508	133,530	4,753	0	519,791	0		519,791
管理費	0	0	0	0	0	5,684,904		5,684,904
給料手当	0	0	0	0	0	1,534,200		1,534,200
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	168,900		168,900
退職給付費用	0	0	0	0	0	120,000		120,000
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	123,800		123,800
福利厚生費	0	0	0	0	0	316,257		316,257
会議費	0	0	0	0	0	257,104		257,104
旅費交通費	0	0	0	0	0	239,559		239,559
通信運搬費	0	0	0	0	0	517,205		517,205
消耗品費	0	0	0	0	0	6,542		6,542
備品費	0	0	0	0	0	228,129		228,129
印刷製本費	0	0	0	0	0	282,444		282,444
光熱水料費	0	0	0	0	0	112,770		112,770
賃借料	0	0	0	0	0	850,413		850,413
リース料	0	0	0	0	0	77,726		77,726
渉外費	0	0	0	0	0	62,561		62,561
委託費	0	0	0	0	0	151,905		151,905
租税公課	0	0	0	0	0	593,780		593,780
雑費	0	0	0	0	0	41,609		41,609
経常費用計	91,698,971	20,394,109	5,885,061	0	117,978,141	5,684,904		123,663,045
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 16,608,323	△ 14,981,909	△ 2,888,061	18,650,170	△ 15,828,123	12,823,831		△ 3,004,292
評価損益等計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 16,608,323	△ 14,981,909	△ 2,888,061	18,650,170	△ 15,828,123	12,823,831		△ 3,004,292
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 16,608,323	△ 14,981,909	△ 2,888,061	18,650,170	△ 15,828,123	12,823,831		△ 3,004,292
当期一般正味財産増減額	△ 16,608,323	△ 14,981,909	△ 2,888,061	18,650,170	△ 15,828,123	12,823,831		△ 3,004,292
一般正味財産期首残高	△ 116,071,830	△ 85,269,486	△ 37,714,980	273,452,720	34,396,424	129,703,702		164,100,126
一般正味財産期末残高	△ 132,680,153	△ 100,251,395	△ 40,603,041	292,102,890	18,568,301	142,527,533		161,095,834
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0	10,000,000	10,000,000	0		10,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	10,000,000	10,000,000	0		10,000,000
III 正味財産期末残高	△ 132,680,153	△ 100,251,395	△ 40,603,041	302,102,890	28,568,301	142,527,533		171,095,834

【会議報告】

第65回理事会

1. 開催された日時

令和6年6月8日(土)15時44分から17時07分まで

2. 開催場所

T K P 新宿カンファレンスセンター 5 C

3. 理事総数及び定足数

現在数22名、定足数12名

4. 出席理事数 21名

(出席) 秋元 恵美、有吉 正博、岡崎 朋美、
小倉 幸雄、片平 誠人、蒲原 一之、
苅部 俊二、北井 敏雄、工藤 洋治、
黒須 雅弘、障子 恵、大後 栄治、
鶴崎 健一、永井 純、長澤 光雄、
日隈 広至、広川龍太郎、福島 洋樹、
松本 正之、安井 年文、山下 誠

(出席監事) 細萱 智大、山本 俊樹

(欠席) 関根 春幸

5. 議題

【決議事項】

代表理事・業務執行理事の選任及び会長、副会長、専務理事、常務理事の選任について

【報告事項】

①令和6年度主催競技会理事派遣計画(案)

②令和7年度開催 日本I Cについて

③処分規定について(準備状況)

④アンチドーピング違反撲滅に向けた対策について

⑤その他

6. 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

【決議事項】

【代表理事・業務執行理事の選任及び会長、副会長、専務理事、常務理事の選任について】

会長及び代表理事に松本正之理事を推薦することについて提案があった。

審議の結果、提案について承認することを、出席理事全員一致で可決した。

続いて代表理事/副会長に有吉正博理事、副会長兼専務理事に永井純理事、常務理事に工藤洋治理事、関根春幸理事、山下誠理事を推薦することについて提案があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

報告事項の議題に入る前に、松本会長を議長として選出。議事録署名人を定款33条に基づき、松本正之会長、有吉正博副会長、細萱智大監事、山本俊樹監事とした。

【報告事項】

①令和6年度主催競技会理事派遣計画(案)について
永井純専務理事より資料に基づいて令和6年度主催競技会理事派遣計画(案)について報告があった。

②令和7年度開催 日本I Cについて

永井純専務理事より令和7年度開催日本I Cについて報告があった。2025年は東京で世界陸上が9月の第2、3週で行われるため、例年と異なる日程を模索している。先日、強化委員会、競技委員会、総務委員会に加えて候補地に挙がっていた岡山県および石川県が所在している中国四国学連と北信越学連のヘッドコーチに出席いただき、開催期間および開催場所を検討した。開催期間については6月の第2週を希望。現段階では岡山開催という方向で考えていきたい。

③処分規程について(準備状況)

永井純専務理事及び工藤洋治常務理事より資料に基づき普通会員及び指導者等についての処分規程の準備状況について報告があった。今日は成案にせず、各地区に持ち帰っていただき、7月末までにご意見等があれば日本学連の方に返していただき、最終的に9月の理事会で成案にしたい。今回は日本陸連の規程を基に日本学連用に内容をアレンジしたものになっている。

④アンチドーピング違反撲滅に向けた対策について

大西事務局長より資料に基づきアンチドーピング違反撲滅に向けた対策について報告があった。日本陸連としては、今後、大学の学長宛に資料にあるような文面を送りたい旨打診を受けている。学連としては、違反者が留学生に集中している状況であるが、何らかの対策を講じなければならない環境にあり、今後進展があれば地区学連と情報共有したい。

医事委員長の蒲原先生より補足があり、学連としては競技会においてアンチドーピングの教育活動を啓発するアウトリーチプログラムというブースを設けていく。また、陸連からトレーナー活動のアウトリーチを進めたいという申し出があった。

【会議報告】

第66回理事会

1. 開催日時

令和6年7月29日(月) 18時08分から18時58分まで

2. 開催方法

Zoomによるオンライン会議

3. 理事総数および定足数

現在数22名、定足数12名

4. 出席理事数 20名

(出席理事) 秋元 恵美、有吉 正博、岡崎 朋美、
小倉 幸雄、片平 誠人、蒲原 一之、
北井 敏雄、工藤 洋治、黒須 雅弘、
障子 恵、関根 春幸、大後 栄治、
鶴崎 健一、永井 純、長澤 光雄、
日隈 広至、福島 洋樹、松本 正之、
安井 年文、山下 誠、

(出席監事) 山本 俊樹

(欠席理事) 苅部 俊二、広川龍太郎

(欠席監事) 細萱 智大

(オブザーバー) 岡田 晃、河野 匠

5. 議題

【協議事項】

第1号議案：令和7年度(2025年度)主催競技会開催の承認について

①2025日本学生陸上競技個人選手権大会

②天皇賜盃第94回日本学生陸上競技対校選手権大会

第2号議案：倫理委員会委員の交代について

第3号議案：学生常任幹事の承認について

第4号議案：その他

【報告事項】

①前回理事会以降の職務遂行について

②その他

6. 議事の経過およびその結果

(1) 定足数の確認

(2) 議長および議事録署名人の選出

代表理事として松本正之会長が議長に選出され、開会を宣した。

議事録署名人は定款33条に基づき、松本正之会長、有吉正博副会長、山本俊樹監事が選出された。

(3) 議案の審議および議決結果等

【協議事項】

第1号議案：令和7年度(2025年度)主催競技会開催の承認について

永井純専務理事より資料に基づき提案があった。

①2025日本学生陸上競技個人選手権大会(以下学生個人選手権)

来年度の学生個人選手権は、2025FISUワールドユニバーシティゲームズ(2025/ドイツ/ライン・ルール)(以下WUG)の日本代表選手選考競技会として行う。WUGの選考および派遣準備のため、従来の6月開催を令和7年4月25日(金)～27日(日)に前倒しにして開催したい。会場はレモンガススタジアム平塚とし、WUG選考対象種目として男子10000m、女子10000m、男子十種競技、女子七種競技を追加する。なお、競歩種目の選考については、第19回日本学生20km競歩選手権大会にて選考するため、学生個人選手権の種目となっている男子10000m競歩、女子10000m競歩は選考対象種目としない。

②天皇賜盃第94回日本学生陸上競技対校選手権大会(以下日本インカレ)

第94回日本インカレは、9月に東京世界陸上が開催される関係で日程と会場の調整を行ってきたが、令和7年6月5日(木)～8日(日)に岡山県のシティライトスタジアムにて開催したい。令和6年6月23日に競技場使用調整会議を行い、他競技団体との調整の結果、上記の日程案となった。

各地区インカレとの間隔が短くなるため、各地区学連には5月の上旬には開催できるように調整をお願いしたい。北日本学生陸上競技対校選手権大会(以下北日本インカレ)および西日本学生陸上競技対校選手権大会(以下西日本インカレ)を日本インカレ前に開催することは難しいため、C資格の扱いについてはこれから検討することとなる。

審議の結果、提案内容を承認することを出席理事全員一致で可決した。

(補足) 今回の提案は、来年度に東京世界陸上が開催されることによる特例であること、しかし、2026年度も9月に愛知でアジア大会の開催が予定されている。今回の提案は、来年度の日本インカレ日程に関する審議であるが、2026年度の開催時期についても議論を進めていかなければならない。

第2号議案：倫理委員会委員の交代について

永井純専務理事より資料に基づき提案があった。

スポーツ庁のガバナンスコード等により、4年前に倫理委員会と不服申し立て委員会を立ち上げた。倫理委員会の構成委員について、立ち上げた当初は各委員会の委員長を中心に構成していたが、改めて工藤常務理事に倫理委員会の構成について調べていただいたところ、倫理委員会で扱う議案は重大なものであることが多いため、組織を代表する者と公正な立場である弁護士や法学関係者の方で構成する方が良いのではないかと助言をいただき、松本会長および工藤常務理事とともに検討して新たな委員を選出した。

審議の結果、提案内容を承認することを出席理事全員一致で可決した。

第3号議案：学生常任幹事の承認について

永井純専務理事より資料に基づき提案があった。日本学連の新たな常任幹事として活動していただく2名の方についてご承認をいただきたい。詳細は資料の通りである。

審議の結果、提案内容を承認することを出席理事全員一致で可決した。

【報告事項】

①前回理事会以降の職務遂行について

永井純専務理事より資料に基づき前回理事会以降の職務執行について報告があった。

また、関根春幸常務理事（競技委員会委員長）、障子恵理事（総務委員会委員長）、山下誠常務理事（強化委員会委員長）より各委員会の活動について

報告があった。

②その他

マーケティング活動について大西清司事務局長より報告があった。

河野匠事務局次長に、マーケティングについて力を入れて動いていただいている。日本インカレで特別協賛をいただく三井住友フィナンシャルグループとは、現在細かい点の調整に入っている。また、澤木啓祐顧問にご協力いただき、来年の日本学生個人選手権をより活性化するためのマーケティング活動を行っている。マーケティングについては今まであまり力を入れてこなかったが今後はこういった活動によって日本学連の活性化につなげていきたい。

松本正之会長から以下補足説明があった。三井住友フィナンシャルグループは企業活動の中で社会貢献、特にスポーツに対しての貢献というのがテーマになっている。日本インカレというのがどのような存在であるのか、どのように運営しているのか、アマチュアスポーツとしていかに学生競技者が努力をするものになっているのか、さらには過去の歴史といったものを説明した上で話を進め、現在細かい調整段階まで入っている。河野事務局次長が担当となり話を進めているが、今後も継続的に協力してもらえるように進められれば良いと考えている。

■ 2024年度 学生役員 日本学連常任幹事承認について

氏 名：河本 賀帆（かわもと かほ）

大 学：東洋大学 健康スポーツ科学部 健康スポーツ科学科 1年

出身高校：日本大学第二高等学校

競 技 歴：陸上競技 中学校、高校 6年間（主に800m、1500m、駅伝）

フェンシング 中学 1年間

氏 名：永田 里桜（ながた りお）

大 学：学習院女子大学 国際文化交流学部 国際コミュニケーション学科

出身高校：英理女子学院高等学校

競 技 歴：ダンス 小学生時代6年

バレーボール 中学時代3年間

執行役員による職務執行の状況報告 (2024/5/18以降)

2024年/5月18日 第64回理事会

月 日	行 事 (報告内容)
5月18日 (土)	第64回理事会 於：TKP 新宿カンファレンスセンター
5月19日 (日)	2024日本学生陸上競技個人選手権大会 エントリー締め切り
5月21日 (火)	全日本大学選抜能登半島一周駅伝競走 (仮称) 石川県庁情報交換 於：日本学連事務所
5月21日 (火)	処分規程策定検討会議 ※オンライン会議
5月22日 (水)	富士山女子駅伝事務局会議 ※オンライン会議
5月24日 (金)	2024日本学生陸上競技個人選手権大会番組編成会議 於：日本学連事務所 / オンライン併用
6月4日 (火)	第93回日本 IC 競技場下見 (川崎陸協) 於：等々力競技場
6月5日 (水)	マーケティング部会 ※オンライン会議
6月6日 (木)	日本 IC 協賛に関するミーティング (ミズノ) ※於：日本学連事務所
6月6日 (木)	レモンガススタジアム平塚
6月6日 (木)	2024日本学生陸上競技個人選手権大会 主任者会議 ※横浜市開港記念会館会議室
6月7日 (金)	2024日本学生陸上競技個人選手権大会 報道部会 於：日本学連事務所 / オンライン併用
6月8日 (土)	第16回定時社員総会 於：TKP 新宿カンファレンスセンター
6月8日 (土)	第65回理事会 於：TKP 新宿カンファレンスセンター
6月11日 (火)	富士山女子駅伝事務局会議 ※オンライン会議
6月13日 (木) ~ 16日 (日)	2024日本学生陸上競技個人選手権大会 ※於：レモンガススタジアム平塚
6月21日 (金)	第64回実業団・学生対抗陸上競技大会実行委員会 於：TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター
6月25日 (火)	富士山女子駅伝実行委員会事前ミーティング ※オンライン会議
6月25日 (火)	日本 IC 協賛に関するミーティング (ミズノ) ※於：日本学連事務所
6月27日 (木)	富士山女子駅伝実行委員会 ※富士市教育会館 / オンライン併用
6月28日 (金)	全日本大学駅伝 / ADK 情報交換会 ※オンライン会議
7月2日 (火)	まつえレディースハーフマラソン (学生女子ハーフ選手権) 実行委員会 於：松江市
7月3日 (水)	第36回出雲駅伝実行委員会 於：出雲市
7月4日 (木)	日本 IC 協賛に関するミーティング (マイナビ) ※於：マイナビ
7月5日 (金)	第93回日本 IC 競技場、川崎陸協3社打ち合わせ会議 於：等々力競技場
7月8日 (月)	全日本大学駅伝協賛に関するミーティング (シチズン) ※於：日本学連事務所
7月11日 (木)	2025年日本学生個人選手権に向けたマーケティング活動① (浜松町)
7月18日 (木)	富士山女子駅伝交通対策会議 於：富士市教育会館
7月18日 (木)	2025年日本学生個人選手権に向けたマーケティング活動② (西葛西)
7月20日 (土)	第64回実業団・学生対抗陸上競技大会 於：レモンガススタジアム平塚
7月22日 (月)	全日本大学駅伝協賛挨拶 (シチズン) ※於：シチズン社
7月25日 (木)	全日本大学選抜能登半島一周駅伝競走 / 石川県知事面談 於：JR 東海
7月29日 (月)	臨時理事会 (第66回理事会) ※オンライン会議

【会議報告】

第67回理事会

1. 開催日時

令和6年8月28日(水) 17時09分から18時38分まで

2. 開催方法: Zoomによるオンライン会議

3. 理事総数および定足数: 現在数22名、 定足数12名

4. 出席理事数 18名

(出席理事) 秋元 恵美、有吉 正博、小倉 幸雄、
片平 誠人、苅部 俊二、北井 敏雄、
工藤 洋治、黒須 雅弘、関根 春幸、
大後 栄治、鶴崎 健一、永井 純、
長澤 光雄、日隈 広至、広川龍太郎、
福島 洋樹、松本 正之、安井 年文

(出席監事) 細萱 智大、山本 俊樹

(欠席理事) 岡崎 朋美、蒲原 一之、障子 恵、
山下 誠

(オブザーバー) 船原 勝英(倫理委員会委員長)

5. 議題

【協議事項】

第1号議案: 競技会の実施における不適正行為に対する処分について

6. 議事の経過およびその結果

(1) 定足数の確認

(2) 議長および議事録署名人の選出

代表理事として松本正之会長が議長に選出され、開会を宣した。

議事録署名人は定款33条に基づき、松本正之会長、有吉正博副会長、細萱智大監事、山本俊樹監事が選出された。

(3) 議案の審議および議決結果等

【協議事項】

第1号議案: 競技会の実施における不適正行為に対する処分について

資料により、判明した事実、本連合における処分を説明。

審議の結果、提案内容を承認することを出席理事全員一致で可決し、処分内容を8月29日17時に本連合HP公表することとした。

最後に永井純専務理事より意見が述べられた。今後不正に対しては抑止が大切と考える。まずは地区学連の理事の先生方が各加盟校主催の競技会を監督、指導していただくことが重要。各県陸協に指導してもらうなどの方法は考えているが、まずはそれぞれの地区学連内において先生方の監督が必要かと思う。加盟校へのご指導をお願いしたい。

【会議報告】

第68回理事会

1. 開催された日時

令和6年9月19日(木) 13時09分から15時26分まで

2. 開催された場所

Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu

3. 理事総数および定足数

現在数22名、定足数12名

4. 出席理事数 20名

(出席理事) 秋元 恵美、有吉 正博、岡崎 朋美、
小倉 幸雄、片平 誠人、蒲原 一之、
苅部 俊二、北井 敏雄、工藤 洋治、

黒須 雅弘、障子 恵、関根 春幸、
大後 栄治、鶴崎 健一、永井 純、
日隈 広至、広川龍太郎、福島 洋樹、
安井 年文、山下 誠

(出席監事) 山本 俊樹

(欠席理事) 長澤 光雄、松本 正之

(欠席監事) 細萱 智大

(オブザーバー) 船原 勝英(倫理委員会委員長)、
岡田 晃(総務委員会副委員長)

5. 議題

【協議事項】

第1号議案: 第94回日本I C(令和7年)大会要項について

第2号議案: 2025年日本学生陸上競技個人選手権大会要項について

第3号議案: WUG日本代表選手選考要項について

第4号議案：令和7年度/専門委員会委員について

第5号議案：処分規程の制定について

第6号議案：倫理委員会運営規程

および不服申立委員会運営規程の改定について

第7号議案：普通会员について

第8号議案：その他

- ・B大学不適切行為の関するホームページの公表期間について

- ・東京マラソン準エリート推薦要項(リリース済み)

- ・医事委員会より

【報告事項】

①会務の報告

②専門委員会委員の連合主催競技会派遣ガイドラインについて

③その他

- ・能登駅伝(仮称)

- ・第94回日本I C準備関係

6. 議事の経過およびその結果

(1) 定足数の確認

(2) 議長および議事録署名人の選出

代表理事として有吉正博副会長が議長に選出され、開会を宣した。

議事録署名人は定款33条に基づき、有吉正博副会長、山本俊樹監事が選出された。

(3) 議案の審議および議決結果等

【協議事項】

第1号議案：第94回日本I C(令和7年)大会要項について

永井純専務理事及び山下誠強化委員長より資料に基づき第94回日本I Cの大会要項について説明と提案があった。

2025年9月13日(土)～21日(日)、東京で世界選手権が開催されることになり、それに伴いインカレを6月5日(木)～8日(日)に開催することになった。エントリー締切(案)を通常通りのタイミングで5月12日(月)15時と設定している。地区インカレのC資格を考慮した検討が必要である。また2025年7月中旬にはワールドユニバーシティゲームズ(ライン-ルール地方・ドイツ/以下WUG)もあるため、5月の中旬は、派遣手続き業務においてピークとなるため学生役員の負担を考えなければならない。

標準記録については見直しを行い、A標準はランキング30位相当、B標準は50位相当で設定した。また開催時期が早まるためC資格に北日本インカレ・西日本インカレ優勝者は含まない。

審議の結果、北日本エリアの地区インカレを開催時期を考慮し、エントリー締切を5月19日(月)9時に変更したうえで承認することを、出席理事全員一致で可決した。

補足：19日締切とするとエントリー漏れ等一切救済することができなくなる。また、プログラム作成等のスケジュールがかなり厳しくなることもあり、資格審査においては、8地区学連の協力を得て、総力を挙げての対応が必要となる。地区学連の理事、ヘッドコーチによるご指導をお願いしたい。

第2号議案：2025年日本学生陸上競技個人選手権大会要項について

永井純専務理事及び山下誠強化委員長より、資料に基づき2025年日本学生陸上競技個人選手権大会要項について説明があった。

WUG選考会のため4月に開催し、選考レースとして男女10000m、十種競技、七種競技を追加する。また10000mWは能美競歩で選考されるため個人選手権では選考対象外となる。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

その際、以下の通り審議・質疑応答があった。

補足：個人選手権では従来TR4.4が適用されていたが、2025年は、適用しないこととした。また、WUGの選考競技会となることからB決勝を実施しない旨明記することとした。

第3号議案：WUG日本代表選手選考要項について
山下誠強化委員長より資料に基づきWUG日本代表選手選考要項(案)について説明があったが選考基準について再度強化委員会において審議することとした。

第4号議案：令和6・7年度/専門委員会委員について

永井純専務理事より、資料に基づき専門委員の新規選任について説明があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

補足：東海学連のヘッドコーチ(強化委員会委員)は今年度、黒須雅弘理事が代行として務めることとした。

第5号議案「処分規程の制定について」および第6号議案「倫理委員会運営規程および不服申立委員会運営規程の改定について」

工藤洋治常務理事より、資料に基づき処分規程の制定について説明があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第7号議案：普通会员について

永井純専務理事より、資料に基づき普通会员の入会数について説明があった。

8月終了時点で普通会员は19,734名。20,000名を目指したいが、登録担当の学生役員によると達成は難しいような回答であった。各地区においては登録数の増加にご尽力いただきたい。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

第8号議案：その他

- ・B大学不適切行為の関するホームページの公表期間について

永井純専務理事より、B大学不適切行為に関するホームページの公表期間については、処分期間中としてはどうかと提案があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

- ・東京マラソン準エリート推薦要項について

大後栄治理事より、資料に基づき説明があった。すでにリリースされているが、追認する形で出席理事全員一致可決した。

- ・医事委員会より

蒲原一之医事委員長より資料に基づき説明があった。日本インカレでのアウトリーチ活動をしている對崎利香子委員のアンケート調査、および順天堂大学院の砂本沙織さんの松江レディースハーフマラソンでのアンケート調査について承認していただきたい旨の提案があった。

審議の結果、提案内容を承認することを、出席理事全員一致で可決した。

【報告事項】

①会務の報告

永井純専務理事より、資料に基づき前回理事会以降の会務の報告があった。

②専門委員会委員の連合主催競技会派遣ガイドラインについて

永井純専務理事より、資料に基づき専門委員会委員の連合主催競技会派遣ガイドラインを作成した旨の報告があった。

③その他

- ・能登駅伝（仮称）について

永井純専務理事より、資料に基づき能登駅伝（仮称）の開催について、石川県知事から震災復興企

画として開催要請があったことの報告があった。

- ・第94回日本IC準備関係

永井純専務理事より、資料に基づき第94回日本IC準備に向けた報告があった。

- ・蒲原一之医事委員長より、前回理事会で提案したトレーナー部会のアウトリーチ活動については準備が間に合わなかったため取りやめとなった旨の報告があった。
- ・北井敏雄理事より、3月16日の万博駅伝について、コースがエキスポ会場でほぼ確定したことの報告があった。関西学連評議員会にて倫理委員会を立ち上げた。不服申し立て委員会については関西学連では対応できないので、日本学連と連携していきたい。
- ・黒須雅弘理事より、B大学の不祥事に関連して、東海学連における処分が報告された。
- ・日隈広至理事より、B大学の不祥事に関連して、関東学連における処分が報告された。

以上をもって議案の審議等を終了したので、15時26分、議長は閉会を宣し、解散した。

資料

天皇賜盃第94回日本学生陸上競技対校選手権大会要項
All Japan Inter University Track&Field Championships

1. 主催 公益社団法人日本学生陸上競技連合
2. 運営協力 中国四国学生陸上競技連盟、一般財団法人岡山陸上競技協会
3. 後援
4. 特別協賛
5. 期日 2025年6月5日(木)～8日(日)
6. 会場 シティライトスタジアム(岡山県総合グラウンド陸上競技場)
7. 競技種目 男子22種目
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、110mH、400mH、3000mSC、4×100mR、4×400mR、10000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、十種競技
女子22種目
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、10000m、100mH、400mH、3000mSC、4×100mR、4×400mR、10000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投、七種競技
※男女10000mW以外の種目をWRKへ申請予定です。
8. 競技日程 未定
9. 参加資格 1) 2025年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員であって、以下のいずれかに該当する者。
① 2024年1月1日(日)から2025年5月18日(日)の期間のA標準記録突破者(A資格)、B標準記録突破者(B資格)。
ただし、ターゲットナンバー(TN)がある種目について、C資格(下記②)を含む申込者数がTNを超過する場合は、C資格を含む出場人数がTN以内となるよう、A資格・B資格のうち記録上位者の出場を認める。
② 2025年度の地区インカレの優勝者(C資格。TNがある場合を含めて、持ち記録に関わらず出場可とする。)
ただし、3000mSCについては、競技の安全確保の観点から出場人数を特に絞ることを踏まえて、申込者全体の中からTNまでの記録上位者の出場を認める(C資格も全体の中での記録上位者のみ出場可となる。)
2) A資格は各校3名まで、B資格は各校1名でA資格と合計して3名まで(なお、C資格での出場者がいる大学のB資格の出場は不可とする。)、C資格はA資格と合計して各校3名までとする。
以上の結果、各校の参加人数の組合せは、以下のとおりとなる。

参加人数	組合せ		
1名	A	B	C
2名	A A	B A	C A
3名	A A A	B A A	C A A
- 3) リレー種目は1大学につき1チームのみの参加とし、6名連記とする。資格記録は2024年1月1日以降に樹立したチームの記録でなければならない。
4) 個人の参加種目数の制限は設けない。
10. 参加料 参加者1種目1名につき3500円。ただし、リレーは1種目1チームにつき4500円とする。混成種目は1名につき5000円とする。※参加料は、理由の如何にかかわらず、返金しない。
11. 申込方法 1) 参加大学は日本学連のHPに掲載される日本陸連のエントリーシステムに必要事項を入力し、5月5日(月)から5月19日(月)9時00分までに申し込むこと。
※上記期日を超えてからのエントリーは如何なる場合であっても、一切認めない。
2) ターゲットナンバー設定種目に関しては、ターゲットナンバーから外れた場合のみ5月19日(月)以降に該当する大学の連絡責任者に連絡する。
3) 2)を除いた各大学の参加料を、地区学連を通して通知する。参加大学は地区学連が別途定める締切日までに指定の口座へ入金すること。地区学連から本連合への入金締切日は別途連絡する。
12. 競技について 1) 競技は2025年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により実施する。
2) 競技に使用する用具は主催者側が用意したものを使用しなければならない。
ただし、棒高跳用ボールおよび投てき物は個人所有のものを使用できるが、投てき物は検査を受け、許可されたものとする。
3) リレーメンバーに関してはTR24.10〔国際〕を適用し、リレー・チームのメンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレー競技または他の種目に申し込んでいる競技者であれば、誰でも出場することができる。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、最大4名まで他の競技者と交代することができる。また、TR24.11〔国際〕を適用し、オーダー用紙の提出は各ラウンドの各組の公表された招集時刻(その時間までに競技者が招集所にいなければならない時刻)までとする。
4) TR4.4はこの競技会には適用しない。
13. 式典 開会式：6月6日(金) 9時00分(予定) 栄章贈与式：6月8日(日) 11時30分(予定)
閉会式：6月8日(日) 17時00分(予定)

14. 表彰

- 1) 得点方法は各種目とも、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点および8位1点とする。各部門の優勝大学には、次の賞典を授与する。

男子	優勝部門	女子
天皇賜盃		
および		
日本陸上競技連盟優勝旗	総合	秩父宮妃杯
および		
日本学生陸上競技連合会長杯		
朝日新聞社楯	トラック	日本学生陸上競技連合杯
毎日新聞社楯	フィールド	日本学生陸上競技連合杯
日本学生陸上競技連合杯	混成	日本学生陸上競技連合杯
読売新聞社楯	多種目	読売新聞社楯

- 2) 各種目第1位から第3位までの入賞者には賞状およびメダル、第4位から第8位までの入賞者には賞状を授与する。
3) 順位決定について、得点が同等の場合は優勝者の多い大学を優勝とする。

15. ドーピングコントロール

- 本競技会は、ワールドアスレティクス (WA) アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づく競技会 (時) ドーピング検査対象大会である。競技会 (時) 検査は、大会前日23時59分から検査が終了するまでの期間であり、尿又は血液 (あるいは両方) の採取が行われる。検査の対象に選ばれた該当者は、検査員の指示に従って検査を受けること (競技/運動終了から2時間の安静後に採血が行われることもあるので留意すること)。日本陸上競技連盟に登録していない外国人競技者も同様に従うこと。
- 競技会 (時) 検査の対象となった場合、原則として顔写真付きの身分証明書が必要となる。大会のIDカードやナンバーカードとともに、顔写真のついた学生証、運転免許証、または顔写真が鮮明なパスポートのコピーなどを持参すること。
- 本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従いドーピング検査の対象となることに同意したものとみなす。したがって、本競技会参加者はドーピング検査 (尿・血液等検体の種類を問わず) を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- 本競技会参加者は、JADA クリーンスポーツ・アスリートサイト (<https://www.realchampion.jp>) などを利用して、アンチ・ドーピングについて事前に学習しなければならない。また本競技会においては、希望者が自由に参加可能な「アウトリーチ・プログラム」を実施し、アンチ・ドーピングについて学ぶことのできる機会を設けるので、ふるって参加されたい。
- TUE申請 禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は「治療使用特例 (TUE)」の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のHP (<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>) または日本アンチ・ドーピング機構のHP (<https://www.realchampion.jp/resources/000162.html>) および本連合HP (<https://www.iauau.jp/index.html>) 内の「知っておきたいアンチ・ドーピングの知識2024年版」を確認すること。禁止物質・禁止方法についてTUEが付与されている場合には、その証明書 (コピーで可) をドーピング検査の際に担当検査員へ提出すること。

16. 注意事項

- 代表者会議は行わない。確認事項の伝達および各大学の応援・待機場所に関することはホームページを通じて別途通知する。
- 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側において行うが、それ以後の責任は一切負わない。ただし、9. 参加資格1) の該当者は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

17. 個人情報の取り扱いについて

- 大会の映像・写真・記事・個人記録などは、主催者および主催者が承認した第三者が、大会運営および宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。大会の映像を主催者の許可なく第三者が使用すること (インターネット上において画像や動画を配信することを含む) は禁止する。
- 主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営および本連合事業に必要な連絡等に利用する。

18. 問い合わせ先

公益社団法人日本学生陸上競技連合 事務局
〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階
TEL : 03-5304-5542 FAX : 03-5304-5569 Eメール : juauj@joy.ocn.ne.jp

男子					女子				
種目	A資格	B資格	TN	C資格	種目	A資格	B資格	TN	C資格
100m＊	10.35	10.45	TN 56	地区インカレ の優勝者	100m＊	11.90	12.00	TN 56	地区インカレ の優勝者
200m＊	21.00	21.10			200m＊	24.50	24.80		
400m＊	47.10	47.40			400m＊	56.00	56.50		
800m	1.50.30	1.51.50			800m	2.10.50	2.13.00		
1500m	3.46.00	3.49.00	TN 45		1500m	4.26.50	4.29.00	TN 45	
5000m	13.45.00	13.55.00	TN 40		5000m	16.05.00	16.20.00	TN 40	
10000m	28.35.00	29.05.00			10000m	34.00.00	34.40.00		
110mH＊	14.05	14.25	TN 56		100mH＊	13.80	14.10	TN 56	
400mH＊	51.00	51.60			400mH＊	60.40	61.90		
3000mSC	8.55.00	9.02.00	TN 20※		3000mSC	10.30.00	10.55.00	TN 20※	
4×100mR＊	40.20		TN 40		4×100mR＊	47.00		TN 40	
4×400mR＊	3.10.80				4×400mR＊	3.49.00			
10000mW	42.00.0	10000mW 42.30.0 20kmW 1.28.00	TN 35		10000mW	50.30.0	10000mW 51.30.0 20kmW 1.46.00	TN 35	
走高跳	2.13	2.10			走高跳	1.73	1.70		
棒高跳	5.20	5.15			棒高跳	3.80	3.75		
走幅跳	7.65	7.57			走幅跳	5.95	5.85		
三段跳	15.65	15.45			三段跳	12.50	12.30		
砲丸投	15.60	15.05			砲丸投	13.70	13.30		
円盤投	49.00	47.00			円盤投	45.00	43.30		
ハンマー投	62.30	61.00			ハンマー投	55.70	54.20		
やり投	70.50	68.50			やり投	51.70	49.70		
十種競技	6900	6700			七種競技	4950	4750		

(注) TN表示がある種目はターゲットナンバー制による参加人数制限を行う(詳細は要項に)
※ 3000mSCに限り、C資格者も含むエントリーの中からTNまでの記録上位者とする。

①十種競技については、棒高跳 3 m以上の実績のあるものとする。
②「*」を付した種目については、電気計時による記録のみ有効とする。
「*」を付した種目以外で手動計時による記録を使用したい場合、100分の1を切り捨てる。つまり、1分50秒30は1分50秒3と読み替える。
③ 10000mWの換算は、WAのスコアリングテーブルを活用する。

2025 日本学生陸上競技個人選手権大会 兼 FISU
ワールドユニバーシティゲームズ(ラインルール地方・ドイツ 以下 WUG)
日本代表選手選考競技会要項
2025All Japan University Track&Field Challenge Meeting

1. 主催
公益社団法人日本学生陸上競技連合
2. 後援
平塚市、平塚市教育委員会
3. 運営協力
一般財団法人神奈川陸上競技協会、一般社団法人関東学生陸上競技連盟
4. 期日
2025 年 4 月 25 日 (金) ～ 27 日 (日)
5. 会場
レモンガススタジアム平塚 (ハンマー投：未定)
6. 競技種目
男子 18 種目
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、110mH、400mH、3000mSC、10000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投
女子 18 種目
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、100mH、400mH、3000mSC、10000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投
※上記に加えて、WUG 代表選手選考競技会として以下 4 種目を実施
10000 m (男子・女子)、十種競技、七種競技
※男女 10000mW 以外の種目を WRk へ申請予定です。

7. 競技実施日 別紙記載

8. 参加資格 1) 2025年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員であって、2024年1月1日(月)から2025年3月23日(日)の期間に標準記録(別表)を突破しており、WUG日本代表選手として選考された場合は、出場の意思を有する者。
2) 出場を希望する国外の大学生で本連合の承認を得た者。
※各大学1種目あたりの参加人数制限は設けない。
※個人の参加種目数の制限は設けない。
※全部または一部の種目にターゲットナンバー制を採用する場合がある。

9. 参加料 参加者1種目1名につき3500円、混成種目は5000円とする。

※参加料は、理由の如何にかかわらず、返金しない。

10. 申込方法 本大会は個人エントリーとなる。参加者は、日本学生陸上競技連合HPに掲載された参加申込フォームに必要事項を入力し、2025年3月17日(月)から2025年3月30日(日)までの期間に日本学生陸上競技連合へ申し込むこと。また、参加料は参加申込フォームに記載された手順に従い、申し込みの際に納入すること。

11. 競技について 1) 競技は2025年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。
2) 競技に使用する用具は主催者側が用意したものを使用しなければならない。
但し、棒高跳用ボール及び投てき物は個人所有のものが使用できるが、投てき物は検査を受け、許可されたものとする。
3) 本大会ではB決勝は実施しない。
4) TR4.4はこの競技会には適用しない。

12. 式典 開式：4月25日(金) 競技開始前 閉式：4月27日(日) 競技終了後

13. 表彰 1) 各種目第1位から第3位までの入賞者には賞状及びメダル、第4位から第8位までの入賞者には賞状を授与する。
2) 10000m及び混成種目については表彰は実施しない。

14. ドーピングコントロール

- 1) ドーピングコントロールテスト

ワールドアスレティックスアンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液(或いは両方)の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない外国人競技者も同様に従うこと。また、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

- 2) TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。

詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ(<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ(<http://www.playtruejapan.org/>)および日本学生陸上競技連合HP(<http://www.iuau.jp/index.html/>)内の「知っておきたいアンチ・ドーピングの知識2025年版」を確認すること。

15. 個人情報の取り扱いについて

- 1) 大会の映像・写真・記事・個人記録などは、主催者および主催者が承認した第三者が、大会運営および宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。大会の映像を主催者の許可なく第三者が使用すること(インターネット上において画像や動画を配信することを含む)は禁止する。
2) 主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営および陸上競技に必要な連絡等に利用する。

16. その他

- 1) 本大会は、スポーツ振興基金助成金を受けて実施する。
2) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側において行うが、それ以後の責任は一切負わない。但し、8. 参加資格1)の該当者は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。

17. 問合せ先 公益社団法人日本学生陸上競技連合 事務局

〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階

TEL：03-5304-5542 FAX：03-5304-5569 Eメール：juaui@joy.ocn.ne.jp

男子			女子		
種目	標準記録	TN	種目	標準記録	TN
100m *	10.45		100m *	12.00	
200m *	21.10		200m *	24.80	
400m *	47.40		400m *	56.50	
800m	1.51.00		800m	2.12.50	
1500m	3.47.50		1500m	4.29.00	
5000m	13.47.00	30	5000m	16.10.00	25
				3000m 9.20.00 ※2025年度新入生のみ	5
10000m	28.30.00	25	10000m	33.30.00	20
	5000m 13.47.00	5		5000m 16.10.00	10
110mH *	14.25		100mH *	14.10	
400mH *	51.60		400mH *	61.90	
3000mSC	8.55.00	20	3000mSC	10.50.00	20
10000mW	10000mW 42.30.00	25	10000mW	10000mW 51.30.00	25
	10kmW 42.30			10kmW 51.30	
	20kmW 1.28.00			20kmW 1.46.00	
走高跳	2.11		走高跳	1.70	
棒高跳	5.20		棒高跳	3.80	
走幅跳	7.55		走幅跳	5.85	
三段跳	15.40		三段跳	12.30	
砲丸投	15.05		砲丸投	13.30	
円盤投	47.00		円盤投	43.30	
ハンマー投	61.00		ハンマー投	54.20	
やり投	68.50		やり投	49.70	
十種競技	6600	16	七種競技	4700	24

(注) TN表示がある種目はターゲットナンバー制による参加人数制限を行う

- ①「*」を付した種目については、電気計時による記録のみ有効とする。
「*」を付した種目以外で手動計時による記録を使用したい場合、100分の1を切り捨てる。
つまり、1分50秒30は1分50秒3と読み替える。
- ②10000mWの換算は、WAのスコアリングテーブルを活用する。

【強化委員会 / 短距離・ハードル部】

担当種目 短距離
氏 名 信岡 沙希重 (のぶおか さきえ)
所 属 福岡大学

担当種目 短距離
氏 名 遠藤俊典 (えんどう としのり)
所 属 青山学院大学

担当種目 長距離
氏 名 齋藤 真希 (さいとう まき)
所 属 福岡大学

(再任)
担当種目 競歩部
氏 名 清水 茂幸 (しみず しげゆき)
所 属 岩手大学

【調査研究委員会】

氏 名 田内 健二 (たうち けんじ)
所 属 中京大学

氏 名 丹治 史弥 (たんじ ふみや)
所 属 東海大学

氏 名 本道 慎吾 (ほんどう しんご)
所 属 日本大学

(目的)

第1条 本規程は、本連合の普通会員及びその指導者等(監督、コーチ、部長、顧問その他の関係者をいう。以下「指導者等」という。)並びにその所属大学等に対する処分について、処分事由、処分の種類及び処分の手続を定めることにより、対象者の権利を保障しつつ、適正な処分の実現を図り、もって陸上競技及び本連合に対する社会の信頼を確保することを目的とする。

(処分事由)

第2条 本連合は、普通会員または指導者等が下記各号に定める事由に該当する場合、当該普通会員または指導者等及びその所属大学等について、本規程に定める処分を行うことができる。

- (1) 法令に違反する行為を行った場合。
- (2) 犯罪に該当する行為を行った場合。但し、刑事事件として立件されるか否かにかかわらない。
- (3) 民法の不法行為に該当する行為を行った場合。但し、損害が発生したか否かにかかわらない。
- (4) 本連合、公益財団法人日本陸上競技連盟またはワールドアスレティックスが定める規程(競技規則を含み、「規則」、「規程」、「規約」、「ガイドライン」その他名称を問わない。)に違反した場合。
- 2 前項の規定にかかわらず、ドーピングについては、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が処分を行うものとする。なお、本連合主催の駅伝大会において、アンチ・ドーピング規則違反により個人成績が失効した者がいた場合には、その者が所属するチームの個人及び団体のすべての成績が失効するものとする。
- 3 本連合または各大学等の主催競技会における過去の競技成績について、公認記録の条件を満たしていないことが判明した場合、競技会への出場資格を満たしていないことが判明した場合、または各大学等の主催競技会が適正に実施されていなかったことが判明した場合には、本規程に基づく処分と併せて、または本規程に基づく審査等によることなく当然に、本連合は、当該競技成績の取消または抹消、ならびに本連合の主催競技会における資格記録としての取扱いの制限等を行うことができるものとする。

(処分の種類)

第3条 普通会員及び指導者等に対する処分の種類は、下記各号に掲げるとおりとする。

- (1) 戒告
- (2) 本連合が主催する競技会への出場及び参加の有期停止
- (3) 本連合が主催する競技会への出場及び参加の無期停止
- (4) 登録資格の全部または一部の有期停止
- (5) 登録資格の全部の無期停止
- 2 前項に定めるもののほか、違反事由に組織性が認められる場合、違反事由が悪質である場合、その他相当と認められる場合には、対象者の所属大学等に対して、下記各号に掲げる処分を行うことができる。なお、第3号及び第4号については、一部の競技種目(男女の別を含む。)に限定することも可能とする。
- (1) 戒告
- (2) 駅伝大会におけるシード権(前回大会の成績に基づき、各地区学連における予選会を経ずに参加することができる権利)の剥奪
- (3) 本連合が主催する競技会への出場及び参加の有期停止
- (4) 本連合が主催する競技会への出場及び参加の無期停止
- 3 前各項に定めるもののほか、違反事由が当該大学等の主催競技会の適正さに関するものである場合には、当該大学等に対して、下記各号に掲げる処分を行うことができる。
- (1) 競技会の主催に条件を付すること
- (2) 競技会の主催の有期停止
- (3) 競技会の主催の無期停止

(戒告)

第4条 戒告は、反省を求め、戒めることをいう。

(競技会への出場・参加の停止)

第5条 本連合が主催する競技会への出場及び参加の停止とは、本連合が主催する全部または一部の競技会への出場及び参加が禁じられることをいい、その処分期間中は、当該競技会に会場することを含めて禁じられるものとする。

- 2 競技会への出場及び参加の停止は、無期または有期とし、有期の停止の期間は1か月以上2年以下とする。

(登録資格の停止)

第6条 登録資格とは、競技会への出場資格、審判資格その他の会員登録に基づく地位のうち登録会員としての義務を除くものをいう。

- 2 登録資格の全部の停止は、登録資格の全部を停止することをいい、登録資格の一部の停止は、会員登録に基づく地位の一部を停止することをいう。
- 3 登録資格の停止期間中においても、登録をしている限り、登録会員としての義務は免れない。
- 4 登録資格の停止は、無期または有期とし、有期の登録資格の停止の期間は、1か月以上2年以下とする。

(競技会主催の停止)

第7条 競技会の主催の停止とは、当該大学において競技会を主催することが禁じられることをいう。

- 2 競技会の主催の停止は、無期または有期とし、有期の停止は1か月以上2年以下とする。

(会員等であった者に対する処分)

第8条 普通会員または指導者等が第2条第1項各号に定める事由に該当した後に、普通会員の身分を喪失し、または指導者等の立場を喪失した場合においても、本連合は、第3条に定める処分を行うことができる。

(処分の基準)

第9条 本連合は、対象者の年齢・立場、処分事由に該当する行為の目的・態様・故意の有無・結果その他の情状、行為後の情状、社会的影響、陸上競技及び本連合に対する社会の信頼の確保その他の一切の事情を考慮し、処分を行うか否か及び処分の内容を決するものとする。

(処分の決定)

第10条 普通会員及び指導者等並びにその所属大学等に対する処分については、会長その他の業務執行理事もしくは監事が倫理委員会に諮問し、または倫理委員会において必要と判断して、倫理委員会が審議し諮問に対して答申しまたは自ら提議した上で、これを踏まえて理事会の決議により決定する。

(代理人)

第11条 審査対象者は、代理人を選任し、聴聞への出席その他の防御活動をさせることができる。但し、弁護士でない者を代理人として選任することはできない。

2 審査対象者が未成年者である場合には、その法定代理人が審査について代理権を有するものとする。

3 代理人は、予め、通知先(住所及び電話番号)を届け出なければならない。

4 代理人が存する場合には、審査対象者に対する通知は、代理人に対して行うものとする。但し、通知先の届出がなされていない場合には、審査対象者に通知することを妨げない。

(書面送付)

第12条 審査対象者に処分通知書その他の書面を送付する場合においては、登録住所または審査対象者が指定するメールアドレスに宛ててこれを送付するものとする。

(決定の基礎となる事実)

第13条 倫理委員会は、証拠(審査対象者・関係者に対する事情聴取の結果を含む)に基づいて認定した事実を基礎として処分に関する答申または提議を行わなければならない。

(聴聞)

第14条 倫理委員会は、その審査において、審査対象者から事実及び意見を聴く機会を設けなければならない。但し、審査対象者の同意がある場合、やむをえない事由がある場合及び処分を行わない場合には、この限りでない。

(処分の決定等)

第15条 倫理委員会が処分についての答申または提議をする場合、及び理事会が処分を決定する場合には、処分事由を構成する事実並びに処分の理由及び内容を明らかにしなければならない。

2 処分の決定は、理事会の決議の時にその効力を生じる。

3 本連合は、処分を行う旨の決定後速やかに、その内容等を審査対象者に告知する。

(決定の公表)

第16条 本連合は、必要に応じ、処分の決定の内容について公表することができるものとする。

(不服申立)

第17条 処分を受けた者は、不服申立委員会に対し、処分の決定の取り消しまたは変更を求めて不服申立をすることができる。

2 不服申立を行いうる期間は、処分を受けた者またはその代理人が決定書の写を受領した日から2週間以内とする。但し、処分を受けた者またはその代理人が決定書の写を受領していない場合であっても、決定書の写が通常到達すべかりし時から1週間を経過したときは、決定書の写を受領したものとみなす。

3 不服申立については、書面(以下「不服申立書」という。)を本連合に提出することにより行うものとする。

4 不服申立書には、決定の取り消しまたは変更を求める旨及び不服申立の理由を記載しなければならない。但し、不服申立書に不服申立の理由を記載しない場合には、不服申立書提出後2週間以内にこれを提出しなければならない。

5 不服申立は、処分の決定の効力を停止しない。但し、不服申立委員会は、不服申立があった場合において、相当と認めるときは、不服申立に対する決定までの間、処分の決定の効力を停止することができる。

6 不服申立に対する決定は、不服申立委員会の決議により行う。

7 第11条乃至第13条及び第15条の規定は、不服申立に対する審査の手續に準用する。

8 不服申立委員会の規程は、別に定める。

(停止処分の解除)

第18条 競技会への出場及び参加、登録資格、または競技会主催の停止処分を受けた者は、有期の停止については、処分期間の3分の2の期間を経過した後、無期の停止については、資格停止の始期から2年を経過した後、処分の解除の申請をすることができる。

2 処分の解除の申請は、本連合に対し、書面を提出することにより行うものとする。

3 処分の解除の決定は、倫理委員会の答申または提議に基づき、理事会において審議し、理事会決議により行う。

4 理事会は、第8条に定める事情に加え、処分後に生じた事情を考慮し、相当と認める場合には、処分を解除するものとする。

(登録取消しへの準用)

第19条 第9条乃至第17条の規定は、登録取消しの手續について準用する。

(地区学連からの諮問等への対応)

第20条 地区学連(定款第12章に定められる団体をいう。以下同じ。)が当該地区学連の登録会員及びその指導者等並びにそれらの所属

大学等に対しておこなう処分を検討及び決定するにあたり、当該地区学連から本連合に対して諮問があった場合は、倫理委員会において本規程の定めに準じて審議をおこない、理事会に報告の上で、当該諮問に回答することができるものとする。

- 2 地区学連が登録会員及びその指導者等並びにそれらの所属大学等に対しておこなった処分に対して本連合の不服申立委員会に再審査を申立てができる旨が、あらかじめ当該地区学連の規程において定められている場合には、不服申立委員会は、当該申立てを受けて、本規程の不服申立に係る定めに従い再審査をおこなうことができるものとする。

(その他の諮問への対応)

第21条 倫理委員会は、会長または理事会から、定款第10条に定める会員の除名、定款第26条に定める役員の解任、委員会の委員の解任、被用者に対する懲戒処分等についての検討をするにあたり諮問があった場合は、本規程の定めに準じて審議をおこない、当該諮問に回答する。

(規程の改廃)

第22条 本規程の改廃は、理事会の決議により行う。

附則 この規程は、2024年(令和6年)9月19日より施行する。(2024年9月19日理事会決議)

資料

倫理委員会運営規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人日本学生陸上競技連合(以下、「この法人」という。)委員会規程に基づいて設置された倫理委員会運営(以下、「委員会」という。)に関することを定める。

(所掌)

第2条 委員会は次の事項を所掌とする。

- (1) 倫理に反する行為の防止を目的とする関係規程の整備に関することなど。
- (2) 社員総会または理事会に対して、本連合の会員その他の関係者及びその所属大学等の処分について答申または提議をすること。
- (3) 地区学連(定款第12章に定められる団体をいう。)がその会員その他の関係者及びその所属大学等おこなう処分について、当該地区学連の諮問に対して答申をすること。
- (4) 普通会員の所属する団体及び会員以外の者による倫理に反する行為に対する措置に関すること。

(委員)

第3条 委員会に、次の委員を置く。

委員長 1名 委員 10名以内

2 委員長及び委員は、理事会の決議によって選任する。

3 委員は、不服申立委員会の委員長、委員以外の者とし、委員のうち2名以上の者は、この法人の理事、監事、職員、専門委員会の委員長とする。

(委員会)

第4条 委員会は委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は議決権を有する委員の3分の2以上の出席がなければ開催することができない。

3 委員会の決議は出席者の過半数をもって行う。

4 前項の決議については、特別の利害関係を有する委員は議決権を有しない。

5 この規程に定めるもののほか、委員会の所掌事項の実施に関して必要な事項は、委員会においてこれを別に定める。

(規程の改廃)

第5条 この規程の改廃は、理事会の決議による。

附則 この規程は、2020年(令和2年)2月29日より施行する。(2020年2月29日理事会決議)

この規程は、2024年(令和6年)9月19日より施行する。(2024年9月19日理事会決議)

資料

不服申立委員会運営規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人日本学生陸上競技連合(以下、「この法人」という。)委員会規程に基づいて設置された不服申立委員会(以下、「委員会」という。)の運営に関することを定める。

(所掌)

第2条 委員会は会員その他の関係者及びその所属大学等の処分に対する不服申立に関することを所掌する。なお、地区学連(定款第12章に定められる団体をいう。)がその会員その他の関係者及びその所属大学等に対しておこなった処分に対して本連合の委員会に再審査を申立てができる旨が、あらかじめ当該地区学連の規程において定められている場合には、委員会において当該申立てを受けて再審査をおこなうことができるものとする。

(委員)

第3条 委員会に、次の委員を置く。

- 委員長 1名 委員 5名以内
- 2 委員長及び委員は、理事会の決議によって選任する。
- 3 委員長は、法曹資格者または法学者でなければならない。
- 4 委員は、倫理委員会の委員長、委員以外の者とし、過半数はこの法人の正会員以外の者とする。
- (任期)
- 第4条 委員長及び委員の任期は、委嘱日より開始し、この法人の役員の任期と同じく終了する。ただし、再任を妨げない。
- (委員会)
- 第5条 委員会は委員長が招集し、その議長となる。
- 2 委員会は議決権を有する委員の3分の2以上の出席がなければ開催することができない。
- 3 委員会の決議は出席者の過半数をもって行う。
- 4 前項の決議については、特別の利害関係を有する委員は出席不可とし議決権を有しない。
- 5 この規程に定めるもののほか、委員会の所掌事項の実施に関して必要な事項は、委員会においてこれを別に定める。
- (規程の改廃)
- 第6条 この規程の改廃は、理事会の決議による。
- 附則 この規程は、2020年(令和2年)2月29日より施行する。(2020年2月29日理事会決議)
- この規程は、2024年(令和6年)9月19日より施行する。(2024年9月19日理事会決議)

資料

⑩職務執行の状況報告

月 日	行 事 (報告内容)
7月29日(月)	臨時理事会(第66回理事会) ※オンライン会議
7月30日(火)	2025年開催 第94回日本IC開催に関するリリース
7月31日(水)	競技委員会 ※日本学連事務所/オンラインの併催にて
8月1日(木)	SMBC日本IC特別協賛に関わるミーティング 於: 三井住友FG本社
8月1日(木)	株式会社明治/令和7年度日本学連事業協賛に関するミーティング 於: (株)明治
8月5日(月)	競技会実施不適正行為に関する執行役員ミーティング ※オンライン会議
8月7日(火)	株式会社ヤクルト本社/令和7年度日本学連事業協賛に関するミーティング 於: ヤクルト本社
8月7日(火)	日本IC/報道部会 ミーティング ※日本学連事務所/オンラインの併催にて
8月9日(金)	倫理委員会 ※オンライン会議
8月15日(木)	2025/WUG日本代表選手選考要項検討会議 ※オンライン会議
8月18日(日)	日本IC/アウトリーチ運営ミーティング(医事委員会) ※オンライン会議
8月19日(月)	専門委員会委員の事業派遣に関するミーティング ※オンライン会議
8月22日(木)	総務委員会 ※オンライン会議
8月23日(金)	日本IC 番組編成会議 ※日本学連事務所/オンラインの併催にて
8月26日(月)	日本IC/等々力競技場打ち合わせ /川崎・中原警察署挨拶(総務委員会) 於: 川崎市/中原区
8月27日(火)	処分規程制定に関するミーティング ※オンライン会議
8月27日(火)	日本IC/報道部会 ミーティング ※日本学連事務所/オンラインの併催にて
8月27日(火)	強化委員会 ※オンライン会議
8月28日(水)	臨時理事会(第67回) ※オンライン会議
8月29日(木)	B大学/競技会実施不適正行為に対する処分決定リリース
8月30日(金)	山一興産/令和7年度日本学連事業協賛に関するミーティング 於: 山一興産本社
8月30日(金)	2025日本学生陸上個人選手権大会大会要項検討会議 ※オンライン会議
9月2日(月)	出雲駅伝運営ミーティング ※オンライン会議
9月3日(火)	日本IC EP会議 ※日本学連事務所/オンラインの併催にて
9月5日(木)	2025/ 第94回日本IC大会要項 検討会議 ※オンライン会議
9月6日(金)	第56回全日本大学駅伝 運営会議 ※オンライン会議
9月11日(水)	日本IC/報道部会 ミーティング ※日本学連事務所/オンラインの併催にて
9月12日(木)	2025富士山女子駅伝実行委員会 ※富士市教育プラザ/オンライン併用会議
9月12日(木)	強化委員会 ※オンライン会議
9月13日(金)	企画委員会 ※オンライン会議
9月15日(日)	日本IC/主任者会議 於: 三ツ沢競技場
9月19日(木)	第68回理事会 於: 川崎市/等々力競技場会議室

競技委員会より

天皇賜盃第93回日本学生陸上競技対校選手権大会について

競技委員長 関根 春幸

日本インカレが終わりました。いくつか気になるところをお話したいと思います。

競技者の皆さんはプログラムの中に記載されている競技注意事項や申し合わせ事項に目を通していますか？主催者側から特に競技者に伝えたいことを中心にルール、競技方法やマナーなどが網羅されているものです。ルールを熟知することも大事ですが、競技会ごとの独自のルールも存在します。しっかり競技注意事項や申し合わせ事項を熟読して競技に臨んでほしいと思います。

また、この大会はWorld University Gamesにつながる大会でもあるので、いくつかの国際ルールを適用しました。競技結果や判定に不服があれば、競技現場で審判長に抗議できるというのもその一つです。例を挙げれば、フィールド競技の判定に納得できないとか不正スタート判定されたが不正スタートはしていないという抗議などです。その場で抗議をすれば、審判長が判断の証拠を示したり説明したりしてくれます。再試技や再レースが難し

い競技日程の中ですので、是非そういったシステムも積極的に利用してみてください。

今回は競技日程の招集時刻についても従来他の大会で行っている招集開始時刻及び招集完了時刻の記載はせず、招集時刻一つだけの記載とし、競技注意事項には「招集時刻に招集所にいること」と記載しました。招集時刻に点呼を開始し、さまざまな確認をしてFOPに送り出すやり方です。この記載をしっかりと読まずに、招集所にやってきて残念ながら招集に遅れ欠場となってしまった競技者もいました。競技開始時刻はもちろんのこと、練習会場や練習会場からメインスタジアムまでの距離、招集時刻等キーとなる時刻は競技者自身でもしっかりと把握し、備えたいものです。

競技に参加できなければ、積み重ねてきた努力も何なりません。競技に関する情報なども押さえてほしいものです。

総務委員会より

天皇賜盃第93回日本学生陸上競技対校選手権大会における大会運営について

総務委員長 障子 恵

パリオリンピックに出場した学生も登場した本大会。注目も集まり、初日から多くの方がご来場くださいました。日本インカレ特有の応援合戦やご来場いただきました皆様のご声援が後押しとなり、日本学生新記録、U 20日本新記録も樹立されるなど、大変盛況な競技会となりました。ありがとうございました。

総務委員会では、出場選手が最高のパフォーマンスを発揮できる安心・安全な競技運営について検討し、下記の通り実施いたしましたことをご報告いたします。

1. 有料観客席の設置

チケットをご購入いただいたお客様が良い席で観覧できるように、メインスタンドは有料観客専用としました。不正入場防止や混乱回避のために観客動線を一方通行としましたが、入場口までが遠い、誘導掲示がわかりづらい、配慮が必要な方への案内が不十分等、課題も残りました。

2. 迷惑撮影防止

今回はメインスタンド1階席からの撮影を禁止としました（スマートフォンを含む）。神奈川県中原警察署に巡回協力をお願いしましたが、残念ながら2階席にて1件発生しました。このほか迷惑撮影の気配はありましたが、通信機能付きカメラや望遠鏡での撮影は証拠となる画像が確認できないため非常に悩ましく、今後の課題です。ご協力いただいた中

原警察署には、心より御礼申し上げます。

3. パブリシティの充実

3年目となる、あすリートチャンネルでのLIVE配信。4日間の総アクセス数は速報値で約78万（昨年45万）と大変好評でした。また、学生中心に行ったSNSでの優勝者メッセージも大変好評でした。

4. 企業連携（新たな取り組み等）

今回、三井住友フィナンシャルグループ様が、特別協賛としてご協力くださいました。男女優勝校の中で特に活躍した選手各1名にはSMBC賞が授与され、運営面でも給水と広報部門でご協力いただきました。心より御礼申し上げます。また、早期化する就職活動を踏まえ、学生へのキャリア支援の一環として、株式会社マイナビ様にも協力いただきました。

本大会は、学生主体の運営です。学生幹事は、昨年の日

本インカレ終了後直後から準備を進めてきました。課題も多々ありますが、学生幹事、学生審判員、学生補助員の努力無くして本大会の成立はありません。学生諸君の頑張りに敬意を表します。

次回大会は岡山県での開催です。来年も皆様のご来場を心よりお待ちしております。

令和6年 日本学生陸上競技連合

会員について(2024年度)

令和6年8月31日現在

正会員 135名 普通会員 19,794名 賛助会員 7名

日本学生陸上競技連合 普通会員の各月変遷 単位：人

	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中四国	九州	月合計
年度前	242	624	4,943	674	1,132	2,189	758	1,037	11,599
4月	250	146	2,646	146	350	1,002	823	402	5,765
5月	135	86	616	200	163	226	130	107	1,663
6月	14	37	126	23	39	145	51	50	485
7月	5	12	53	9	14	30	15	19	157
8月	3	1	40	1	2	31	5	5	88
9月	0	4	31	3	1	13	6	5	63
10月									0
11月									0
12月									0
1月									0
2月									0
退会者			-6		-9	-10		-1	-26
合計	649	910	8,449	1,056	1,692	3,626	1,788	1,624	19,794

前回理事会
(5/18) 17,779名
増員数 1,955名

【参考：普通会員数の推移】

単位：人

年度	北海道	東北	関東	北信越	東海	関西	中国四国	九州	合計	前年比	5年前比	10年前比
2024	649	910	8,449	1,056	1,692	3,626	1,788	1,624	19,794	297 ↑	-502	338
2023	644	954	8,282	1,002	1,649	3,654	1,776	1,536	19,497	580 ↑	-1,245	923
2022	597	854	8,046	942	1,639	3,580	1,735	1,524	18,917	352 ↑	-1,866	743
2021	560	890	7,883	915	1,667	3,517	1,654	1,479	18,565	391 ↑	-2,132	687
2020	556	896	7,704	914	1,610	3,419	1,600	1,475	18,174	-2,122 ↓	-1,916	933
2019	702	979	8,373	996	1,938	3,764	1,787	1,757	20,296	-446 ↓	840	3,444
2018	726	1,017	8,487	1,024	2,073	3,808	1,832	1,775	20,742	-41 ↓	2,168	4,085
2017	749	973	8,588	1,009	2,098	3,758	1,853	1,755	20,783	86 ↑	2,609	4,450
2016	756	933	8,578	1,009	2,088	3,689	1,884	1,760	20,697	607 ↑	2,819	4,483
2015	705	943	8,221	1,021	2,007	3,547	1,904	1,742	20,090	634 ↑	2,849	4,269
2014	680	929	7,981	965	1,936	3,507	1,843	1,615	19,456	882 ↑	2,604	4,230
2013	628	914	7,547	903	1,835	3,383	1,781	1,583	18,574	400 ↑	1,917	3,991
2012	640	910	7,273	832	1,826	3,360	1,736	1,597	18,174	296 ↑	1,841	3,969
2011	711	933	7,065	834	1,756	3,236	1,723	1,620	17,878	637 ↑	1,664	3,929
2010	688	919	6,792	821	1,686	3,106	1,653	1,576	17,241	389 ↑	1,420	3,374
2009	715	878	6,641	879	1,611	3,000	1,630	1,498	16,852	195 ↑	1,626	2,920
2008	754	952	6,626	822	1,480	2,923	1,598	1,502	16,657	324 ↑	2,074	
2007	651	977	6,497	799	1,426	2,870	1,520	1,593	16,333	119 ↑	2,128	
2006	651	1,005	6,452	743	1,493	2,829	1,471	1,570	16,214	393 ↑	2,265	
2005	636	1,041	6,258	763	1,429	2,728	1,441	1,525	15,821	595 ↑	1,954	
2004	599	984	6,118	751	1,321	2,605	1,410	1,438	15,226	643 ↑	1,294	
2003	587	885	5,864	749	1,257	2,519	1,311	1,411	14,583	378 ↑		
2002	604	841	5,663	755	1,184	2,478	1,259	1,421	14,205			

【2023年度 一男女別の数は調査中】

2022年度	男子	女子	合計	前年比	比率(%)
北海道	465	132	597	37	3
東北	658	196	854	-36	5
関東	6,180	1,856	8,036	155	43
北信越	742	200	942	27	5
東海	1,193	446	1,639	-28	9
関西	2,519	1,059	3,578	70	19
中国四国	1,324	410	1,734	80	9
九州	1,154	370	1,524	45	8
全体	14,235	4,669	18,904	350	

2021年度	男子	女子	合計
北海道	440	120	560
東北	664	226	890
関東	6,051	1,830	7,881
北信越	729	186	915
東海	1,203	464	1,667
関西	2,482	1,026	3,508
中国四国	1,253	401	1,654
九州	1,122	357	1,479
全体	13,944	4,610	18,554

令和6年度 賛助会員

(10月1日現在 五十音順、敬称略)

ご入会ありがとうございました

浅見美弥子 阿保 雅行 安藤 好郎 石黒 成彬 入江 毅 金子今朝秋
黒石 重幸 櫻井 孝次 田中 淳浩 豊岡 示朗 東川 安雄 藤井 邦夫
藤田 幸雄 山崎 健

賛助会員募集中

この法人の目的及び活動に賛同し賛助する個人又は団体の方は、是非ご検討ください。

〈年会費〉賛助会員 円10,000 (1口)

※年会費は毎年納入していただく必要があります。年度内(3月31日)まで有効となります。

※本法人への賛助会費は寄付として扱われ、所得税等の納税控除の対象となります。

〈特典〉・会報への氏名・団体名の記載

・天皇賜盃日本学生陸上競技対校選手権大会への無料入場

〈入会手続きについて〉

①申込書(個人・団体)に必要な事項を記入し、本法人へ郵送又はFAXしてください。



②本法人の指定銀行口座へ、年会費をお振込み願います。



③ご入金が確認でき次第、本法人の賛助会員として登録させていただきます。

何かご不明な点がございましたら、下記事務局までお問い合わせください。

〔発行所〕公益社団法人 日本学生陸上競技連合 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-58-11 中沢ビル2階
TEL 03-5304-5542 FAX 03-5304-5569

編集後記

会報第170号(令和6年5月15日発刊)以降の事業では、5月18日に第64回理事会、6月8日に第16回定時社員総会と第65回理事会、7月29日に第66回理事会(臨時)、8月28日に第67回理事会(臨時)、9月19日に第68回理事会が開催されました。主な議題としては、令和5年度事業報告及び決算報告、理事・監事の任期満了に伴う改選、名誉会員の推薦、倫理委員会「普通会員及び指導者等についての処分規程の制定」、第94回天皇賜盃日本学生陸上競技対校選手権大会(以下日本インカレ)の大会要項について、2025日本学生陸上競技個人選手権(以下個人選手権)の大会要項についてが協議され承認を得ました。また臨時理事会ではB大学における不適切な競技会運営とそれに関わった指導者への処分が決定され、その処分内容が日本学連HP上に公開されました。

来年の2025個人選手権は令和7年4月25日(金)～27日(日)にFISUワールドユニバーシティゲームズ(2025/ライン・ルール、以下WUG)の最終選考会を兼ね開催されます。第94回日本インカレは、9月に東京世界陸上が開催されるため開催時期の変更を余儀なくされ、種々検討されましたが、令和7年6月5日(木)～8日(日)の4日間の日程で岡山県総合グラウンド陸上競技場に開催されます。

令和6年度の主催競技会は、令和6年6月14日(金)～16日(日)に2024個人選手権がレモンガススタジアム平塚で開催されました。東洋大学の柳田大輝選手の活躍が光りました。令和6年7月20日(土)に秩父宮賜杯第64回実業団・学生対抗陸上競技大会がレモンガススタジアム平塚で開催されまし

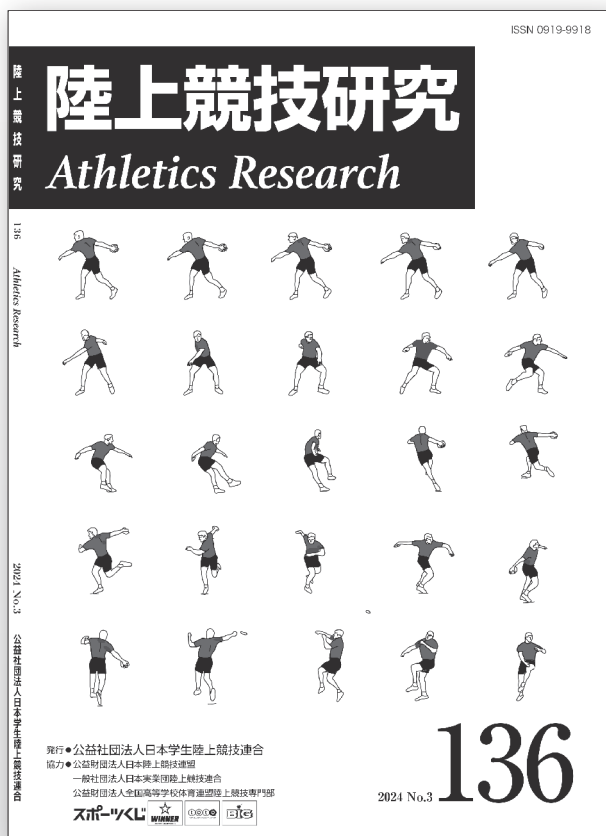
た。パリ五輪直前でしたが実業団チームからオリンピック代表選手6名がエントリーし、その選手たちの活躍もあり、学生チームは残念ながら大敗でした。

9月に入り19日(木)～22日(日)第93回日本インカレが川崎市とどろきスタジアム(Uvanceとどろきスタジアム by Fujitsu)で開催されました。とどろきスタジアムは来年からサッカー専用グラウンドになるため、陸上競技の最後は全国レベルの大会を開催したいというお誘いもあり、関係の皆様方のご協力等をいただき開催いたしました。総合優勝は男子が順天堂大学、女子が日本体育大学でした。ともに4連覇という結果でした。学生新記録が2、大会新記録が8、U20日本新記録が2で、成果が大いにあった大会でした。今回は三井住友ファイナンシャルグループ(SMBCグループ)に、特別協賛になっていただきました。

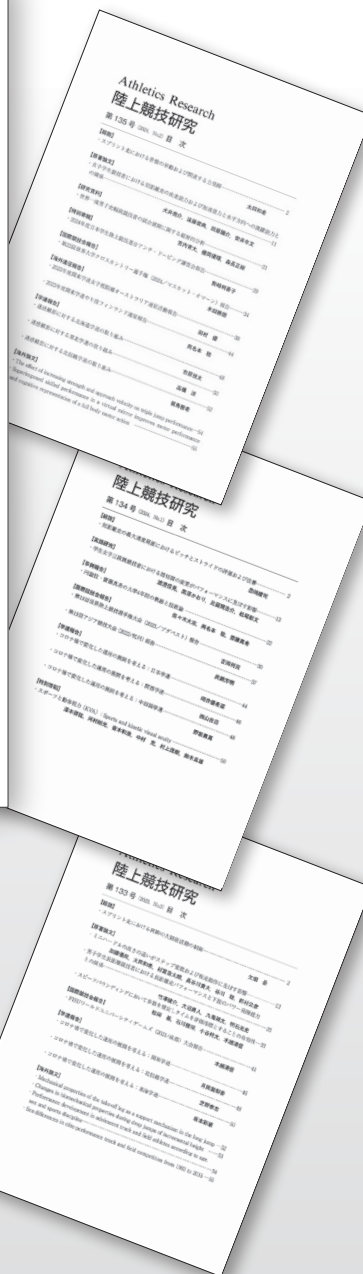
日本学連の主催競技会ではトラック&フィールドが終わり、いよいよ駅伝、ハーフマラソン、競歩のロードでの大会になってきます。出雲全日本大学選抜駅伝競走、全日本大学女子駅伝対校選手権大会、全日本大学駅伝対校選手権大会、全日本大学女子選抜駅伝競走、男女の日本学生ハーフマラソン選手権大会、男女の日本学生20km競歩選手権大会と続きます。ご声援の程よろしくお願いいたします。

以上がご報告を兼ねた編集後記となりましたが、今後も皆様からいろいろご意見をお伺いしながら粛々と日本学連の運営を進めていくつもりです。今後とも進展と向上を目指したいと存じます。
(副会長/専務理事 永井 純)

「陸上競技研究」購読のご案内



第 136 号
2024, No. 3
2024 年 10 月発行



公益社団法人 日本学生陸上競技連合は機関研究誌『陸上競技研究』を発行しています。
購読会員として入会ご希望の方は、年会費 (6,000 円) を下記へ郵便振替にてご送金ください。

口座記号番号 00190-4-142923

加入者名 (株)陸上競技社 陸上競技研究

通信欄に「何号から 1 年間」と必ず明記してください。
バックナンバーについては(株)陸上競技社 (TEL03-5215-8881) にお問い合わせください。
※第136号 (2024, No3) は2024年10月発行予定です。